VOL.27
WEST 2025.February
TAKE FREE

MEG

Mixture
Entertainment
Guide



Cover Artist
Special Interview

中村壱太郎

京の春を彩る「三月花形歌舞伎」
5年目を迎える意気込みを語ってもらった

昭和100年の
今だからこそ観たい!

松竹新喜劇

Special Interview
福島章恭／藤岡幸夫
林 七奈／笹沼 樹
野村萬斎×野村裕基／桐竹勘十郎
笑福亭銀瓶／〈鼓童〉鶴見龍馬
大谷康子／「ボニー＆クライド」レポート
三浦涼介／冨田一樹
〈掲載順〉

中村壱太郎

5年目を迎える「三月花形歌舞伎」4人のフレッシュな花形俳優が京都の春を彩る

京都の春の風物詩となった南座の「三月花形歌舞伎」が今年も壱太郎とともにやって来る。今や女方の歌舞伎俳優として確固たる存在感を放つ中村壱太郎。2021年、コロナ禍を吹き飛ばす勢いで平成生まれの俳優が中心となり始まった「三月花形歌舞伎」も今回で5年目を迎える。自身が、1年で1番大切にしていると言っても過言ではない本公演への意気込みを聞いた。

── そもそも歌舞伎における花形〜という言葉には、どういった意味があるのですか？

歌舞伎の世界では花形という言葉は昔から使われて来ました。元は若手役者を指す言葉で、父（四代目中村鴈治郎）や叔父（三代目中村扇雀）はもちろん多くの先輩方も長く花形公演と銘打ってやっておられました。その魂を受け継いで、コロナ禍に負けないぞ!という意気込みで、平成生まれの役者を中心とした興行が5年前に新たに始まりました。

── 今回は中村米吉さん、中村福之助さん、中村虎之介さん、との共演となりますが、どんな雰囲気の公演になりそうですか？

2025年は松竹創業130周年という特別な年でもあります。そのような特別な年に刺激を受けて、京都でも「三月花形歌舞伎」があることでメンバーみんな気合いが入っています。米吉くんとは、お互いに女方ということもあり、それぞれの違った魅力をお見せできると思っています。福之助くんは、昨年の『スーパー歌舞伎 ヤマトタケル』で共演させていただきました。舞台では独特のニヒルな面が際立つ希有な役者さんだと思います。虎之介は従兄弟ですが、実はこれまでガッツリ共演する機会があまりなかったのです。それもあって、虎之介との『伊勢音頭恋寝刃』（桜プログラム）での共演をとても楽しみにしています。

── 主演者の中で最年長となられますが、この「三月花形歌舞伎」の今後をどう見据えておられますか？

まだまだ、あと10年は必ずやりたいなと思っています。東京の「新春浅草歌舞伎」という若手を中心とした恒例の興行では、（尾上）松也のお兄さんを中心としたメンバーで10年続けられ、次の世代にバトンを渡された。それを見習って、次の世代にしっかりバトンを渡したいと思っています。

── さて、今公演での見所のひとつはなんといっても『於染久松色読販（おそめひさまつうきなのよみうり）』での壱太郎さんによる「お染の五役」ですが、これを演じようと思われたきっかけは？

昨年の『ヤマトタケル』、立川立飛歌舞伎での『玉藻前立飛錦栄（たまものまえたちひのにしきえ）』での九変化、そして南座の顔見世興行では『大津絵道成寺』での五役と、早替り（同じ俳優が衣裳、鬘、役柄を瞬時に変えて演じ分ける）の続いた一年で、だったらこの早替りを極めてみたいという思いになりました。この演目は舞踊となっていまして、今年の新春に大阪松竹座で片岡仁左衛門のおじさま、坂東玉三郎のおじさまが演じられたお芝居の続編の部分を舞踊というスタイルで新たに藤間勘十郎ご宗家と創り上げる演目です。







── 三月花形歌舞伎の定番である「松」と「桜」という2プログラム制となっています。この『於染久松色読販』はどちらにもありますね。

「松プログラム」では、松竹座の新春公演で、仁左衛門のおじさま、玉三郎のおじさま達が演じておられた鬼門の喜兵衛と土手のお六の二役を、私がひとりで演じ分けるという早替りに挑戦をします。かつて二代目市川猿翁のおじさまがこのスタイルの五役で演じられていたというお話を聞いて、やってみたいと思いました。「桜プログラム」では、祖父（四代目坂田藤十郎）の演出に沿った形となります。雷のお役が追加されたり、猿廻しや船頭の役も変わりますから、どちらも雰囲気の異なる演出になると思います。お染、お光、久松の微妙な三角関係の気持ちの演じ分け、そして雷はコミカルに、土手のお六に関しては、こういったお役をすることが少ないですし、勝気でかっこいい女性の部分をしっかりと出せればと思っています。鬼門の喜兵衛は新境地です!

── 三月花形歌舞伎の楽しみは、演目もさることながら、芝居以外の企画が毎年評判ですが、今回はどんな事を計画されていますか？

定番となった手引き口上では4人それぞれの飾らない姿をお見せしようと思います。また今年もガチャガチャ感覚で楽しいグッズプランを考えています。ハズレなしで、全て揃えたくなる!期待していてください（笑）。

── 少し壱太郎さんのプライベートも教えてください。オフの時はどう過ごされていますか？

いわゆるオフはつくらない主義です。休みの日でも何かしら活動しています。強いて趣味といえば、美術館に行くことですね。海外公演に行っても美術館には必ず行くようにしています。今は、ラトビア出身のマーク・ロスコが一番お気に入りの作家です。歌舞伎も美術作品と同じで、私たちの演技から、お客様が何を受け（感じ）取ってもらえるか？が一番大事な部分ですから。

◎Interview & Text／石原卓
◎Photo／中野建太

3/2 SUNDAY 〜 23 SUNDAY【チケット発売中】
「三月花形歌舞伎」
■会場／南座
■開演／11:00、15:30 ※3月6日(木)、13日(木)は休演
■料金（税込）／全席指定
一等席¥12,000　二等席¥7,000　三等席¥4,000　特別席¥13,000
■お問合せ／南座 TEL.075-561-1155

Kazutaro Nakamura

MEG Cover Artist Special Interview

松竹新喜劇の歴史

テレビドラマ「親バカ子バカ」の大ヒットをきっかけに 日本の喜劇を牽引する劇団に

1948（昭和23）年、日本の喜劇の元祖・曽我廼家五郎の死を契機に、曽我廼家五郎劇の曽我廼家大磯、秀蝶、小次郎、明蝶、五郎八、そして曽我廼家十吾たちの〈松竹家庭劇〉、終戦後地方に巡業に出ていた浪花千栄子、石河薫、藤山寛美、二代目渋谷天外たちの〈劇団すいと・ほーむ〉が合体し、道頓堀中座にて誕生した〈松竹新喜劇〉。

1951（昭和26）年には、長谷川幸延作、舘直志（天外）脚色の『桂春団治』が高く評価され、当時22歳の寛美が丁稚役でその才能を開花させた。その後も天外は舘直志のペンネームで、ボーマルシェ「フィガロの結婚」より『笛五郎の結婚』、モリエールの「守銭奴」などの翻訳物や、谷崎潤一郎の「細雪」、「台所太平記」などの文芸物を意欲的に発表。テレビにも積極的に進出し、「親バカ子バカ」が大ヒット。『大阪ぎらい物語』、『銀のかんざし』など今も人気の名作が次々と発表された。

同時に寛美の人気も急上昇。特に「親バカ子バカ」での阿呆ぼん役が大当たりし、全国的なスターダムにのし上がる。天外の後を受け継いだ寛美は劇団の統率者となり、244ヶ月の連続無休公演という偉業を成し遂げるも、1990（平成2）年5月に60歳の若さでこの世を去った。

寛美亡き後、1991（平成3）年3月に二代目渋谷天外の次男・渋谷天笑と、十吾の弟子の曽我廼家文童を俳優部の両輪に迎え、〈新生松竹新喜劇〉が大阪・中座で旗揚げ。その後、天笑から三代目を襲名した渋谷天外を軸に活動を続け、劇団創立60周年を迎えた2009（平成21）年には〈新生松竹新喜劇〉から〈松竹新喜劇〉へと名前を戻した。

2023年5月、渋谷天外が代表を勇退。藤山寛美の孫である藤山扇治郎、三代目天外の養子となった二代目渋谷天笑、令和に「曽我廼家」の名跡を継いだ曽我廼家一蝶、曽我廼家いろは、曽我廼家桃太郎の5人を軸とした新体制がスタートした。


「親バカ子バカ」 左より藤山寛美、二代目 渋谷天外


昭和13年松竹家庭劇「愛の小荷物」

二代目 渋谷天外 〈脚本家・舘直志〉

松竹新喜劇で藤山寛美と 一時代を築き名作喜劇を 世に送り出した役者兼脚本家



1906（明治39）年生まれ、京都市出身。父は〈楽天会〉主宰の初代渋谷天外。息子は三代目渋谷天外。8歳で〈楽天会〉にて初舞台。初代の没後、〈楽天会〉が解散し、しばらく舞台から離れていたが、1922（大正11）年に脚本家兼役者として〈志賀廼家淡海一座〉に加わる。1928（昭和3）年、曽我廼家十吾、石河薫らと〈松竹家庭劇〉を結成。翌年に二代目渋谷天外を襲名。1930（昭和5）年には同劇団の女優の浪花千栄子と結婚（のちに離婚）。1946（昭和21）年に〈松竹家庭劇〉を脱退し、〈劇団すいと・ほーむ〉を結成。やがて曽我廼家十吾と〈松竹新喜劇〉を結成する。「舘直志（たてなおし）」のペンネームで脚本家としても活躍し、世に送り出した作品数は500以上にのぼる。

藤山寛美

松竹新喜劇の人気を全国へと 押し上げた不世出の喜劇役者



1929年生まれ、大阪府出身。父は関西新派〈成美団〉の俳優・藤山秋美。娘に藤山直美、孫に藤山扇治郎。1933年（昭和8）年に新派の花柳章太郎に入門し、藤山寛美と命名される。4歳で初舞台を踏み、1948（昭和23）年には二代目渋谷天外らと松竹新喜劇を旗揚げに参加。戦後は、「あほの寛ちゃん」として人気を博し、特に松竹新喜劇がテレビに進出して以降は全国的なお茶の間の大スターとなる。そして1967（昭和42）年より20年連続で舞台に立ち続け、1987（昭和62）年に244ヶ月連続無休公演という金字塔を打ち立てた。また、1986（昭和61）年11月には無休20年達成を記念し、当り役から選りすぐりの「藤山寛美 二十快笑」を選定。茂林寺文福作の『一姫二太郎三かぼちゃ』や舘直志作の『愚兄愚弟』など、現在も人気の名作が名を連ねる。1990（平成2）年5月、60歳でこの世を旅立った。

三代目 渋谷天外




「裏町の友情」

1954（昭和29）年生まれ、大阪府出身。1977年（昭和52）年、藤山寛美のもとで俳優修行を積む。1984（昭和59）年に休団。1991（平成3）年に〈新生松竹新喜劇〉旗揚げに参加し、翌年には父二代目渋谷天外の名跡を継いで三代目を襲名。劇団代表となる。2023年4月、32年にわたって務めた代表の座を勇退。舞台のほか、テレビドラマや映画など、出演作品は枚挙にいとまがない。

新入団の期待の若手たち



昭和100年の 今だからこそ観たい!

松竹新喜劇

とかく世間は世知辛い。頼りになるのは義理と人情。
コスパ、タイパがもてはやされる現代。
生きてるゆえの哀しみと可笑しみは時代を超えて心に響く。
進化を続ける浪花の新喜劇のA to NEXT。

写真提供：松竹
◎Text／石原 卓、岩本和子

松竹新喜劇の名作

“泣き笑い”は人生を教えてくれる。辛いこと、悲しいこと、楽しいこと、その総てが人生だ。松竹新喜劇の創立以来、数々の名優たちによって演じ継いできた名場面の数々は、生きていく上で本当に大事なことは何か？をわたしたちに教えてくれた。受け継がれた伝説が、進化を続ける松竹新喜劇を支えている。


左より 曽我廼家文童、伴心平、藤山寛美、小島慶四郎、渋谷天笑（現天外）

『桂春団治』

◎作／長谷川幸延
◎脚色／舘 直志

やっぱり浪花の華は春団治！ 芸の神様に見そめられた男の人生喜劇

上方落語のレジェンド、初代桂春団治の破天荒な生きざまを通して、芸人として、人間としての苦悩を赤裸々に描いた松竹新喜劇代表作。初演では丁稚役、その後は春団治をたびたび演じた藤山寛美が、渋谷天外の傑作脚本と充実期の劇団員と共に作り上げた名作。


左より 藤山寛美、高田次郎

『人生双六』

◎作（合作）／茂林寺文福、舘 直志

生きるということは、かくも美しい。 そして泣き笑いのその先に見えてくるもの

茂林寺文福と舘直志の合作による『人生双六』は、貧しい2人の男が出世を夢見て再会を約束する物語。人生に挫折しかけた二人が、再会を楽しみに、人生双六のスタートをきった。そして5年後に感動の再会を果たす泣ける作品。「藤山寛美二十快笑」にも入る名作。2024年の「11月松竹新喜劇」では演目総選挙で1位に選ばれた同作が現在のメンバーで上演され、4月 大阪松竹座でも上演が決定！


左より 曽我廼家八十吉、曽我廼家玉太呂、曽我廼家寛太郎

『お祭り提灯』

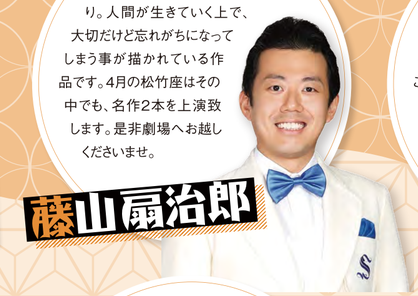
◎作／舘 直志
◎脚色／星 四郎

秀逸なキャラクターが笑いを誘う ドタバタの中にみる人情の機微とは？

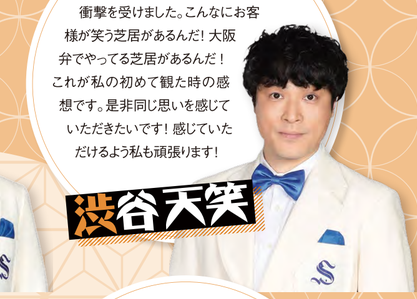
提灯屋徳兵衛さんが拾った祭りの寄付金、それを狙う町内一の強欲張り山路屋幸兵衛、それに丁稚の三太郎が絡んでの善と悪との追っかけっこ。提灯の中に隠された大金の行方をめぐる大騒動。果たして大金の行き先は…。新喜劇爆笑狂言の代表作。「藤山寛美十八番箱」（DVD BOX）にも収録されている名作中の名作。

バトンを受け取った ニューリーダー五人衆

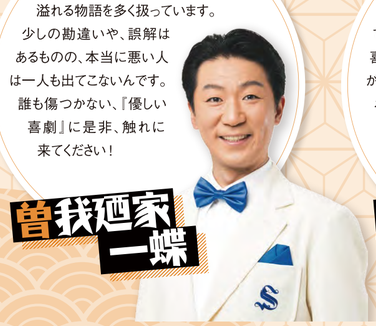

2023年公演製作発表より



松竹新喜劇は、支え合い、助け合い、思いやり。人間が生きていく上で、大切だけど忘れがちになってしまう事が描かれている作品です。4月の松竹座はその中でも、名作2本を上演致します。是非劇場へお越しくださいませ。



私が初めて松竹新喜劇を観たのが24歳でした。衝撃を受けました。こんなにお客様が笑う芝居があるんだ！大阪弁でやってる芝居があるんだ！これが私の初めて観た時の感想です。是非同じ思いを感じていただきたいです！感じていただけるよう私も頑張ります！



何処にでもあるよううな日常の中で人々のやさしさ溢れる物語を多く扱っています。少しの勘違いや、誤解はあるものの、本当に悪い人は一人も出てこないんです。誰も傷つかない、『優しい喜劇』に是非、触れに来てください！



「松竹新喜劇？なにそれ？」と思われたそこのあなた！わかります。実は私も知りませんでした。笑いあり、涙ありの人情喜劇なんです。老若男女誰が見ても心がほっこりするお芝居です！4月は出会いの季節、皆様にお会いできるのを楽しみにしております！



どんぶらこ どんぶらこ～皆様ご存知桃太郎でございます。松竹新喜劇を日本一の劇団にするため人情喜劇をお届けしております！是非4月はきびだんごをもらいに来てください。お待ちしております！

読売テレビ

https://www.ytv.co.jp/event/

1/4 SATURDAY ～3/30 SUNDAY モネ＆フレンズ・アライブ

チケット発売中

瞬間的な光、動き、そして日常のシーンを大胆に描き、一世を風靡した「印象派」をグランデ・エクスペリエンセズが制作・プロデュース。19世紀半ばから20世紀初頭にかけて活躍したクロード・モネをはじめとする日本中を虜にし続ける印象派画家の作品の数々に、力強いクラッシク音楽と最新のイマーシブ技術が融合した「フランス印象派」の世界につつまれる没入体験をお届けします。印象派の世界の激しさと美しさに心を奪われる体験をお楽しみください。



■会場／デザイン・クリエイティブセンター神戸 1階KIITOホール
■時間／平日11:00～18:00　土日祝10:00～18:00
（最終入場は閉館60分前まで）※月曜休館（祝休日の場合は翌日）
■料金（税込）／
［平日］一般¥2,500（当日¥2,700）　高大生¥1,700（当日¥1,900）
小中生¥900（当日¥1,100）
［土・日・祝］一般¥2,700（当日¥2,900）　高大生¥1,900（当日¥2,100）
小中生¥1,100（当日¥1,300）
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥⑦　■Pコード／687-036　■Lコード／53911
■お問合せ／キョードーインフォメーション
TEL.0570-200-888（12:00～17:00 土日祝休業）

3/7 FRIDAY ～6/8 SUNDAY モネ 睡蓮のとき

チケット発売中

印象派の巨匠クロード・モネが描いた〈睡蓮〉や〈日本の橋〉が春の京都に集う、究極のモネ展を開催。
世界最大のモネ・コレクションを所蔵するパリのマルモッタン・モネ美術館より、日本初公開となる7点を含むおよそ50点が来日。
さらに日本各地に所蔵される作品も加え、モネ晩年の芸術の極致を紹介します。本展の中心となるのは、2mを超える大画面の〈睡蓮〉の数々です。日本では過去最大規模の〈睡蓮〉が集う貴重な機会となります。



■会場／京都市京セラ美術館 本館 北回廊1階・南回廊1階
■時間／10:00～18:00（入場は17:30まで）
※月曜休館、ただし4月28日（月）、5月5日（月・祝）は開館
■料金（税込）／一般¥2,300（団体¥2,100）
大学生・高校生¥1,700（団体¥1,500）
中学生・小学生¥1,000（団体¥800）
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥⑦⑩⑪⑫
■Pコード／687-094　■Lコード／52087
■お問合せ／京都市京セラ美術館 TEL.075-771-4334
※予約優先制、混雑時にご予約のない方は入場をお待ちいただく場合があります
詳しくは公式サイトをご確認ください

MANY DAYS 名探偵コナン スペシャルコンサート2025

チケット発売中

◎音楽監督／大貫祐一郎 ◎ゲストアーティスト／倉木麻衣

2025年　春、ファン待望の4年ぶりの公演として帰ってくる！ 名シーン（場面）×名曲の数々…、これまでの軌跡をたどりながら、さらに30周年への飛躍にむけ、巨大スクリーンで上映するスペシャル映像とオリジナル編成されたオーケストラ・バンドが奏でる音楽会イベントに乞う期待！
大阪・東京の2都市にて開催。スペシャルゲストにアニメ「名探偵コナン」の名曲を歌う「倉木麻衣」の出演も決定♪名探偵コナンテーマソングの数々…、珠玉のコンサートをお見逃しなく！



［大阪公演］◎3/22（土）17:00～、23（日）14:00～
Asueアリーナ大阪
［東京公演］◎4/12（土）17:00～、13（日）16:00～
国立代々木競技場 第一体育館

■料金（税込）／全席指定　グッズ付S¥12,000　S¥8,500　A¥7,000　■チケット取扱い／下記①②③⑤
■お問合せ／［大阪公演］キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888（12:00～17:00 土日祝休業）
［東京公演］キョードー東京 TEL.0570-550-799（平日11:00～18:00 土日祝10:00～18:00）
※未就学児入場無料、但しお席の必要な方は要チケット

MANY DAYS 舞台『青のミブロ』

3/1（土）～チケット発売

◎出演／坪倉康晴、猪野広樹、飯島颯（SUPER★DRAGON）、相澤莉多、岩城直弥、砂川脩弥、櫻井佑樹（劇団EXILE）、瀧原 光（NORD）、成瀬透城、新谷聖司、わかばやしめぐみ、矢代卓也、速川大弥、横山真史、本間健太、書川勇輝、秋山皓郎、和田啓汰、田上健太、榮橋太郎、木ノ花大空矢、窪寺直 ほか

漫画・アニメで大人気！"青のミブロ"がついに舞台化！ 原作 安田剛士、脚本・演出 西田大輔。幕末の京都を舞台に、最も青く最も熱い新選組を描きます。世の不条理に対する怒りと世界を変えたいという純粋な願いが少年たちを突き動かす。4月に東京・京都で開催。詳しくは公式ホームページをチェック！



［東京公演］◎4/11（金）～20（日）
EX THEATER ROPPONGI
［京都公演］◎4/25（金）～27（日）京都劇場

■料金（税込）／全席指定 ¥11,000（特典付き）
■開演／詳しくは公式HPをご確認ください
■チケット取扱い／下記①　■Pコード／531-419
■お問合せ／Mitt 03-6265-3201（平日12:00～17:00）
※未就学児入場不可

4/25 FRIDAY ～4/26 SATURDAY ディズニー・ワールド・ビート 2025

チケット発売中

◎出演／ブラッド・ケリー（バンドリーダー＆音楽監督）、Brad Kelley Big Band、Singers from LA

ディズニー音楽を豪華ビッグバンド・サウンドでお贈りするコンサート！ ジャズやラテン、ソウルなど多彩なリズムにアレンジしたディズニーの名曲を総勢21名のバンドメンバー&シンガーたちが、楽しくスタイリッシュにお届けします。演奏曲は『わんわん物語』『アラジン』『美女と野獣』『アナと雪の女王』からの楽曲や、『小さな世界』『シング・シング・シング』などを予定。ブラッド・ケリーがおなじみの楽曲や隠れた名曲をスペシャル・アレンジ！ 物語の世界観を映し出すスクリーンの映像とともに、大迫力のビッグバンド・サウンドでお贈りします。



Presentation licensed by Disney Concerts, ©Disney

［神戸公演］◎4/25（金）18:00～
神戸国際会館こくさいホール
［大阪公演］◎4/26（土）15:00～
フェニーチェ堺 大ホール

■料金（税込）／全席指定　SV¥8,900　AV7,600　BV6,300　SSV12,000
■チケット取扱い／下記①②③⑤⑥⑦⑧⑨　■Pコード／280-214　■Lコード／56149
■お問合せ／キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888（12:00～17:00 土日祝休業）　※未就学児入場不可

5/18 SUNDAY ～6/6 FRIDAY ディズニー・オン・クラシック 夢とまほうの贈りもの 2025

チケット発売中

◎指揮／辻 博之　◎ヴォーカリスト／今井実希、瀧本真己、牧野元美、吉田桃子、鹿野浩史、新堂由暁、菅原洋平、後藤春馬

ディズニー・アニメーションや映画、テーマパークの音楽を日本人ヴォーカリストとオーケストラの生演奏でお贈りする豪華ライブエンターテイメント。コンサートが初めての方も、お子様も！ "夢"と"まほう"の音楽体験をどうぞお楽しみください！ My First クラシックコンサート・デビューのあなたへ、My Best 何度もお越しいただいている皆さまの一番を、世代を超えてお楽しみいただける日本語でお届けします。



Presentation licensed by Disney Concerts, ©Disney

［京都公演］◎5/18（日）17:30～
ロームシアター京都 メインホール
［大阪公演］◎6/6（金）18:30～
フェスティバルホール

■料金（税込）／全席指定　SV¥8,900　AV7,600　BV6,300（大阪公演のみ）
SSV¥12,000　2階SSV¥12,000（大阪公演のみ）
■チケット取扱い／下記①②③⑤⑥　■Pコード／285-365
■Lコード／51952　■セブンコード／宝都公演108-438［大阪公演］108-442
■お問合せ／キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888（12:00～17:00 土日祝休業）　※未就学児入場不可

6/28 SATURDAY アリス＝紗良・オット ピアノ・リサイタル

チケット発売中

◎曲目／ベートーヴェン：ピアノソナタ 第14番「月光」・ピアノソナタ 第30番、ジョン・フィールド：ノクターン 選集

日本とドイツの血をひくドイツ人ピアニスト、アリス＝紗良・オット、ベートーヴェンはドイツ人である彼女にとって最も重要なレパートリーのひとつで、オール・ベートーヴェン・アルバム収録の「月光ソナタ」、そして、後期ソナタの傑作「第30番」という待望のプログラムに加え、2025年2月に発売予定の最新アルバム、ジョン・フィールドの「ノクターン全集」から珠玉の作品を織り交ぜたコンサートとなります。
アリス＝紗良・オットは、ドイツ・グラモフォンが録音したジョン・フィールドのノクターン全集を2025年2月7日に発売。



■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール　■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定　AV7,800　BV6,800　SV¥6,860（完売）
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥　■Pコード／286-005
■Lコード／55169　■セブンコード／108-597
■お問合せ／キョードーインフォメーション
TEL.0570-200-888（12:00～17:00 土日祝休業）
※未就学児入場不可

4/25 FRIDAY ～30 WEDNESDAY ミュージカル『ボニー&クライド』

チケット発売中

◎脚本／アイヴァン・メンチェル ◎歌詞／ドン・ブラック ◎音楽／フランク・ワイルドホーン ◎上演台本・演出／瀬戸山美咲 ◎出演／柿澤勇人／矢崎 広（Wキャスト）、桜井玲香／海乃美月（Wキャスト）、小西遼生、有沙 瞳、吉田広大／太田将熙（Wキャスト）、霧矢大夢、鶴見辰吾

"アンチ・ヒーロー"の傑作！「俺たちに明日はない」で描かれた儚屈とした時代、犯罪に手を染め刹那を生きた二人の若者の輝きをワイルドホーンの珠玉の音楽で彩るミュージカル新演出版が、待望の上演！

◎4/28（月）「終演後アフタートークショー」
◎登壇者／柿澤勇人・矢崎 広・桜井玲香・海乃美月
※対象公演のチケットをお持ちのお客様がご参加いただけます



■会場／森ノ宮ピロティホール
■開演／詳しくは公式HPをご確認ください
■料金（税込）／全席指定 ¥14,000　U-25¥6,000
■チケット取扱い／下記①②③
■お問合せ／キョードーインフォメーション
TEL.0570-200-888（12:00～17:00 土日祝休業）
※未就学児入場不可

チケット取扱い　①チケットぴあ https://t.pia.jp　②ローソンチケット https://l-tike.com　③イープラス https://eplus.jp　④CNプレイガイド［オールジャンル］☎0570-08-9999［クラシック］☎0570-08-9990 https://www.cnplayguide.com/　⑤楽天チケット https://r-t.jp/　⑥セブンチケット https://7ticket.jp/　⑦アソビュー! https://www.asoview.com/　⑧神戸国際会館こくさいホール ☎078-230-3300（10:00～18:00 火曜休業）https://www.kih.co.jp/kokusaihall/ticket/online　⑨フェニーチェ堺 https://www.fenice-sacay.jp/ 総合窓口（9:00～20:00 第1・3月曜日休館）　⑩e-tix https://www.e-tix.jp　⑪ART PASS https://www.art.passes.jp/　⑫京都市京セラ美術館 https://kyotocity-kyocera.museum/

兵庫県立芸術文化センター

TEL.0798-68-0255 ≪チケット購入・お問合せ　https://www.gcenter-hyogo.jp ≪チケット購入OK

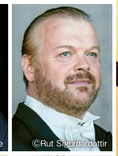
7/19 SATURDAY ～27 SUNDAY 佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2025 歌劇「さまよえるオランダ人」

2/16（日）～チケット発売

◎演目／ワーグナー：「さまよえるオランダ人」（全7公演／全3幕／ドイツ語上演・日本語字幕付／新制作）◎指揮／佐渡 裕 ◎演出・ミヒャエル・テンメ ◎出演［ダブルキャスト］／ヨーゼフ・ワーグナー／高田智宏（オランダ人）、ルネ・ブラックベルク／妻屋秀和（ダーラント）、シネイド・キャンベル＝ウォレス／田崎尚美（ゼンタ）、ロバート・ワトソン／窪里直樹（エリック）ほか ◎合唱／ひょうごプロデュースオペラ合唱団 ◎管弦楽／兵庫芸術文化センター管弦楽団 ◎音楽・台本／リヒャルト・ワーグナー


©飯島隆


©Pepe Lange


©Rut Sigurðardóttir


©takaramiyano


©Marshall Light Studio


©Simon Pauly


©澤谷義宣

開館20周年、ついにワーグナー到来！ 雄弁な音楽で綴る大スペクタクル

2025年。開館20周年記念、そして佐渡 裕芸術監督プロデュースオペラの20作目として上演するのは、オペラ史に燦然と輝く大作曲家ワーグナーの出世作「さまよえるオランダ人」です！
18世紀の英国で流布した「海をさまよい続けるオランダ人の幽霊船」の伝承を基にハインリヒ・ハイネが書いた小説に着想を得て、若きワーグナーが台本を執筆。のちに楽劇として大成するドラマティックな音楽で、綿密に物語を表現しました。スケールの大きなドイツ・メルヘンの神話的な世界のなか、「愛による救済」が描かれる数々のワーグナー作品の原点。物語は明快であったという間に展開していくため、ワーグナー初心者にもおすすめです。ドラマを描き出す序曲から、「オランダ人のモノローグ」「ゼンタのバラード」といった有名なアリアまで、魔法のような音楽とともに繰り広げられる一大スペクタクルを、あなたもどうぞご一緒に。



■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
■開演／各日14:00 ※7月22日（火）・25日（金）は休演日
■料金（税込）／全席指定　AV15,000　BV12,000　CV9,000　DV6,000　EV3,000
■チケット取扱い／下記①②③④
※未就学児入場不可

8/8 FRIDAY ～10 SUNDAY 兵庫芸術文化センター管弦楽団 第161回定期演奏会 佐渡裕 戦争レクイエム

2/16（日）～チケット発売

◎指揮／佐渡 裕 ◎独唱／並河寿美（ソプラノ）、清水徹太郎（テノール）、キュウ・ウォン・ハン（バリトン）
◎室内オーケストラ指揮／齋藤友香理 ◎合唱／ブリテン「戦争レクイエム」合唱団 ◎管弦楽／兵庫芸術文化センター管弦楽団


©飯島隆






©Yuji Hori



終戦から80年となる8月の定期演奏会に佐渡裕芸術監督が選んだのは、平和への強い思いが込められたブリテン「戦争レクイエム」。3人の独唱、混声合唱、児童合唱と、二人の指揮者が指揮する大小2つのオーケストラを擁する大編成で、大作を奏で上げます。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール　■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定　AV5,000　BV4,000　CV2,500　DV1,000
■チケット取扱い／下記①②③④　※未就学児入場不可

3/16 SUNDAY 沖澤のどか指揮 京都市交響楽団《英雄の生涯》

チケット発売中

◎出演／沖澤のどか（指揮）、金川真弓（ヴァイオリン）、クレア・チェイス（フルート）
◎曲目／藤倉 大：ダブル協奏曲 -ヴァイオリンとフルートのための［日本初演］ほか


©Felix Broede


©井上写真事務所 井上嘉和

2019年ブザンソン指揮者コンクール優勝。生前の小澤征爾の指名によりセイジ・オザワ松本フェスティバルの首席客演指揮者に就任するなど活躍目覚ましい沖澤のどかが、京都市交響楽団とセンター初登場で大曲を披露！

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定　AV5,500　BV4,500　CV3,500　DV2,000
■チケット取扱い／下記①②③④　※未就学児入場不可

4/5 SATURDAY 兵庫芸術文化センター管弦楽団 特別演奏会 PAC春休み 子どものための オーケストラ・コンサート

チケット発売中

◎指揮・お話／岩村力（PACレジデント・コンダクター）　◎ゲスト／ガチャピン・ムック
◎管弦楽／兵庫芸術文化センター管弦楽団　◎曲目／紅蓮華～炎（LiSA）ほか


©Naoyasu Ueno


©ガチャピン

3歳から楽しめる70分のコンサートに、キャラクター界のレジェンド＝ガチャピン・ムックが登場！ 大阪・関西万博にちなみ世界各地の名曲をお届けしたあとは、ガチャピンの歌、ムックのピアノとオーケストラが共演！ 岩村 力さんの軽妙なトークとともに、家族みんなで迫力のオーケストラ・サウンドをお楽しみください。

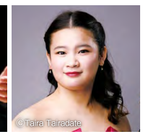
■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール　■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定　おとな（中学生以上）¥2,500
こども（3歳～小学生）¥1,000
■チケット取扱い／下記①②③⑤　※※3歳未満入場不可

5/23 FRIDAY ～25 SUNDAY 兵庫芸術文化センター管弦楽団 第159回定期演奏会 プレトニョフ 極上のオールチャイコフスキー

2/16（日）～チケット発売

◎指揮／ミハイル・プレトニョフ ◎ヴァイオリン／前田妃奈 ◎管弦楽／兵庫芸術文化センター管弦楽団 ◎曲目／チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ほか


©藤本 崇


©Taira Tairadate

耳に残る美しいメロディの宝庫、チャイコフスキーの名曲揃いのプログラム。ヴィエニャフスキ国際コンクール優勝で注目度急上昇中の前田妃奈をソリストに迎えた「ヴァイオリン協奏曲」と、ピアニスト・指揮者・作曲家として才能を発揮するプレトニョフが自ら特別編集した「白鳥の湖」をお届け。

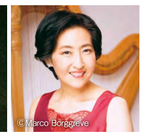
■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール　■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定　AV5,000　BV4,000　CV2,500　DV1,000
■チケット取扱い／下記①②③④　※未就学児入場不可

6/8 SUNDAY プロムナード・コンサート カール＝ハインツ・シュッツ（フルート）＆吉野直子（ハープ）

2/16（日）～チケット発売

◎フルート／カール＝ハインツ・シュッツ　◎ハープ／吉野直子　◎曲目／モーツァルト：フルート・ソナタ ハ長調 K.14、ドビュッシー：月の光 ほか


©NJkegami


©Marco Borggreve

ウィーン・フィルのソロ・フルート奏者のカール＝ハインツ・シュッツと、世界的ハープ奏者の吉野直子のコンビが話題を呼んだ2023年の華麗なデュオ以来、待望の再登場。フルートとハープの技術の粋を結集し、プログラムをご用意いたしました。極上の音楽が、みなさまを夢の世界へ誘います。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール　■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定　AV3,000　BV1,000
■チケット取扱い／下記①②③④　※未就学児入場不可

6/20 FRIDAY ～22 SUNDAY 兵庫芸術文化センター管弦楽団 第160回定期演奏会 ユベール・スダーン 円熟のベートーヴェン「田園」

2/16（日）～チケット発売

◎指揮／ユベール・スダーン ◎ピアノ／児玉 桃　◎管弦楽／兵庫芸術文化センター管弦楽団 ◎曲目／ハイドン：ピアノ協奏曲 ほか


©NJkegami


©Marco Borggreve

PACと共演を重ねる巨匠、ユベール・スダーンが贈るドイツ・オーストリア音楽。前半はシューベルト初期の名作「交響曲第5番」と、世界が認める実力派ピアニスト、児玉 桃をソリストに迎えたハイドン「ピアノ協奏曲」。後半は、牧歌的美しさを持つベートーヴェンの交響曲 第6番「田園」をお届けします。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール　■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定　AV5,000　BV4,000　CV2,500　DV1,000
■チケット取扱い／下記①②③④　※未就学児入場不可

6/29 SUNDAY 山田和樹指揮 バーミンガム市交響楽団 ピアノ：河村尚子

チケット発売中

◎指揮／山田和樹 ◎ピアノ／河村尚子 ◎曲目／ショスタコーヴィチ：祝典序曲、ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番、チャイコフスキー：交響曲 第5番


©飯島 隆


©Marco Borggreve

6月に予定されるベルリン・フィル・デビューの直後、躍進が続くマエストロ山田和樹が、英国の名門楽団とふたたび凱旋。西宮出身・ドイツを拠点に活躍する河村尚子との協奏曲や、チャイコフスキーの人気作品「交響曲 第5番」など、熱演があふれりと想像しうる名曲の数々、至極のシンフォニーをお楽しみに。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール　■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定　AV18,000　BV15,000　CV12,000　DV9,000　EV6,000
■チケット取扱い／下記①②③④　※未就学児入場不可

チケット取扱い　①兵庫県立芸術文化センターチケットオフィス ☎0798-68-0255（10:00～17:00 月曜休 ※祝日の場合翌日）https://www.gcenter-hyogo.jp　②チケットぴあ https://t.pia.jp　③ローソンチケット https://l-tike.com　④イープラス https://eplus.jp

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

TEL.077-523-7136 《チケット購入・お問合せ　https://www.biwako-hall.or.jp/ 《チケット購入OK

3/1 SATURDAY 3/2 SUNDAY
プロデュースオペラ　コルンゴルト作曲 歌劇『死の都』全3幕(ドイツ語上演・日本語字幕付)

チケット発売中

◎指揮／阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督) ◎演出／栗山昌良 ◎再演演出／岩田達宗 ◎管弦楽／京都市交響楽団
◎出演／【3月1日(土)公演】清水優太郎、森谷真理 ほか【3月2日(日)公演】山本康寛、木下美穂子 ほか

阪哲朗プロデュースオペラ第2弾は「死の都」。2014年3月に日本初の舞台上演となった栗山昌良演出、待望の再演となります。コルンゴルトが世界的評価を確立した作品。人気の高い「リュートの歌」や「ピエロの歌」をはじめ、甘美な旋律と繊細なオーケストレーションが溶け合う名場面にあふれ、愛する者を喪った悲しみを克服していく物語を鮮やかに彩っています。





■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール　■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定　S¥20,900　A¥18,700　B¥15,400
U30席(30歳以下)¥3,300　U24席(24歳以下)¥2,200 ほか
■チケット取扱い／下記①②③④⑤　■Pコード／265-417　■Lコード／56718
※6歳以上入場可 ※U30席・U24席は①のみ取扱い

4/26 SATURDAY 4/27 SUNDAY
びわ湖の春 音楽祭2025 ～挑戦～

3/15(土)～チケット発売

びわ湖の春 音楽祭2025



阪哲朗びわ湖ホール芸術監督がプロデュースする「びわ湖の春 音楽祭」。多くの方々が気軽に芸術文化を楽しめるよう、優れた音楽家の演奏をお手頃な料金で提供します。2日間にわたり、びわ湖ホール全館で有料・無料あわせて20以上の多彩な公演を開催。大ホールではオーケストラ公演や高校の吹奏楽部によるマーチング、中ホールでは「0歳児からのコンサート」や「第1回びわ湖ホールピアノコンクール」受賞者の演奏、小ホールでは室内楽や邦楽等の公演を行います。メインロビーでは無料のコンサートを実施。飲食や物販ブースもあり。最新情報は音楽祭特設ページをチェックしてください。https://festival.biwako-hall.or.jp/

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール　大・中・小ホール　メインロビー　■開演／詳しくはHPをご確認ください
■料金(税込)／全席指定【大ホール公演】一般¥1,650～¥2,750　18歳以下¥1,100～¥1,650
【中ホール公演】一般¥1,650　18歳以下¥550～¥1,100 ほか　【小ホール公演】一般¥2,200　18歳以下¥1,650
■チケット取扱い／下記①②③④⑤　■Pコード／288-342　■Lコード／56626　※3歳以上入場可、0歳児からのコンサートは0歳以上入場可

3/9 SUNDAY
沼尻竜典×京都市交響楽団 マーラー「大地の歌」

チケット発売中

◎指揮／沼尻竜典 ◎メゾソプラノ／重島清香 ◎テノール／宮里直樹 ◎管弦楽／京都市交響楽団



©RYOICHI ARATANI

好評の《マーラー・シリーズ》第5弾は、メゾソプラノの重島清香、テノールの宮里直樹を迎えて「大地の歌」を演奏します。第一線で活躍するソリストと沼尻竜典の指揮、京都市交響楽団による大編成の演奏で、マーラーの美の世界を描きます。
■曲目／J.S.バッハ「斎藤秀雄編曲]:シャコンヌ(パルティータ 第2番 ニ短調 BWV1004)、マーラー:大地の歌

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール　■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定　S¥6,050　A¥4,950　B¥3,850　C¥2,750
青少年(24歳以下)¥1,650　シアターメイツ¥770
■チケット取扱い／下記①②③④⑤　■Pコード／265-425
■Lコード／56720　※6歳以上入場可 ※シアターメイツチケットは①のみ取扱い

3/20 THURSDAY HOLIDAY
子どものための管弦楽教室「オーケストラで 万国博覧会!」

チケット発売中

◎指揮／藤岡幸夫(関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者)
◎テノール／山本康寛　◎管弦楽／関西フィルハーモニー管弦楽団

子どもだけでなく大人も一緒に楽しめる入門編オーケストラ公演! 今回は「万国博覧会」をテーマに誰もが知る世界各国の名曲をお届けします。



■曲目／ベートーヴェン:交響曲 第5番「運命」より 第1楽章、ピアソラ:リベルタンゴ ほか

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール　■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定　大人¥2,200　子ども(4歳～中学生)¥1,100
■チケット取扱い／下記①②③④⑤
■Pコード／265-426　■Lコード／56721
※4歳以上入場可

3/22 SATURDAY
びわ湖ホール声楽アンサンブル 第80回定期公演「笑いと涙」ウィーン・ロマンス ～フランツ・シューベルト& ヨハン・シュトラウスII世～

チケット発売中

◎指揮・ピアノ／クリスティアン・コッホ ◎ピアノ／岡本佐紀子
◎出演／びわ湖ホール声楽アンサンブル




滋賀県と友好交流推進に関する協定を締結したオーストリア ブルゲンラント州ゆかりのクリスティアン・コッホが弾き振りで定期公演に初登場。ウィーンの名曲をお届けします。
■曲目／シューベルト:ミサ曲 第6番 変ホ長調 D.950、シュトラウスII世:「こうもり」より"故郷の歌をきけば"ほか"別れの三重唱 ほか

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 小ホール　■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定　一般¥3,300　青少年(24歳以下)¥1,650
■チケット取扱い／下記①②③④　■Pコード／265-427
■Lコード／56723　※6歳以上入場可

3/30 SUNDAY
〈室内楽への招待〉特別コンサート ベルチャ弦楽四重奏団 & エベーヌ弦楽四重奏団

チケット発売中

◎曲目／メンデルスゾーン:弦楽八重奏曲 変ホ長調 op.20、エネスコ:弦楽八重奏曲 ハ長調 op.7


©Maurice Haas

©Julien Mignot

2024年5月からの世界ツアーでウィグモア・ホール、コンセルトヘボウなど最高峰のコンサートホールを凱旋し絶賛を浴びた、人気のカルテット2組による弦楽八重奏がびわ湖ホールに登場! 8人の世界的奏者それぞれの妙技が光る究極のアンサンブルをどうぞご堪能ください。

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール　■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定　一般¥6,600　青少年(24歳以下)¥2,200
■チケット取扱い／下記①②③④⑤
■Pコード／265-419　■Lコード／56724
※6歳以上入場可

5/10 SATURDAY
特別公演 ウィーン少年合唱団

チケット発売中

◎曲目／ヨハン・シュトラウスII:皇帝円舞曲、ヨハン・シュトラウスI:ラデツキー行進曲、サン=サーンス:アヴェ・マリア、同野貞一:ふるさと ほか

1498年の創立以来、ウィーンの象徴・音楽大使として人々の心を癒してきたウィーン少年合唱団。今回は、シュトラウスII世の生誕200周年を記念し、特別プログラムをお届けします。びわ湖ホール大ホールに舞い降りる「天使の歌声」をご堪能ください。



■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール　■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定　S¥5,500　A¥4,400　B¥3,300
青少年(24歳以下)¥1,650　シアターメイツ¥770
■チケット取扱い／下記①②③④⑤　■Pコード／288-340
■Lコード／56618　※6歳以上入場可 ※シアターメイツチケットは①のみ取扱い

6/7 SATURDAY
名曲コンサート 小林愛実 ピアノ・リサイタル

チケット発売中

◎曲目／シューマン:クライスレリアーナ op.16、ショパン:ピアノ・ソナタ 第3番 ロ短調 op.58 ほか

2021年、ショパン国際ピアノコンクールで第4位入賞を果たした小林愛実。ソロでは初登場となるびわ湖ホールで今回演奏するのは、小林が長年向き合ってきたショパンの傑作「ピアノ・ソナタ 第3番」やシューマンの大作「クライスレリアーナ」など名曲の数々。これまで以上に円熟し、表現に磨きのかかる演奏は必聴です。


©Shuhei Tsunekawa

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール　■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定　S¥3,300　A¥2,200
青少年(24歳以下)¥1,100　シアターメイツ¥550
■チケット取扱い／下記①②③④⑤　■Pコード／288-341
■Lコード／56620　※6歳以上入場可 ※シアターメイツチケットは①のみ取扱い

7/5 SATURDAY
大人の楽しみ方39〈ジャズ〉 山中千尋トリオ

3/22(土)～チケット発売

◎ピアノ／山中千尋 ◎ベース／畠山 令 ◎ドラムス／橋本現輝

ニューヨークを拠点に世界的に活躍を続ける山中千尋がスペシャル・トリオで登場。ダイナミズムと超絶技巧、ジャズの伝統と斬新なアレンジを併せ持つ、今まさに活動の絶頂期を迎えているジャズ・ピアニスト山中千尋が率いるピアノトリオをお楽しみください。



■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 中ホール　■開演／17:00
■料金(税込)／全席指定　一般¥5,500
青少年(24歳以下)¥2,200　シアターメイツ¥1,100
■チケット取扱い／下記①②③④　■Pコード／288-346
■Lコード／56684　※6歳以上入場可 ※シアターメイツチケットは①のみ取扱い

7/18 FRIDAY ～21 MONDAY HOLIDAY
オペラへの招待 レハール作曲 オペレッタ『メリー・ウィドウ』

全3幕(日本語上演、日本語・英語字幕付)

3/22(土)～チケット発売

◎指揮／阪 哲朗(びわ湖ホール芸術監督) ◎演出／唐谷裕子
◎管弦楽／日本センチュリー交響楽団

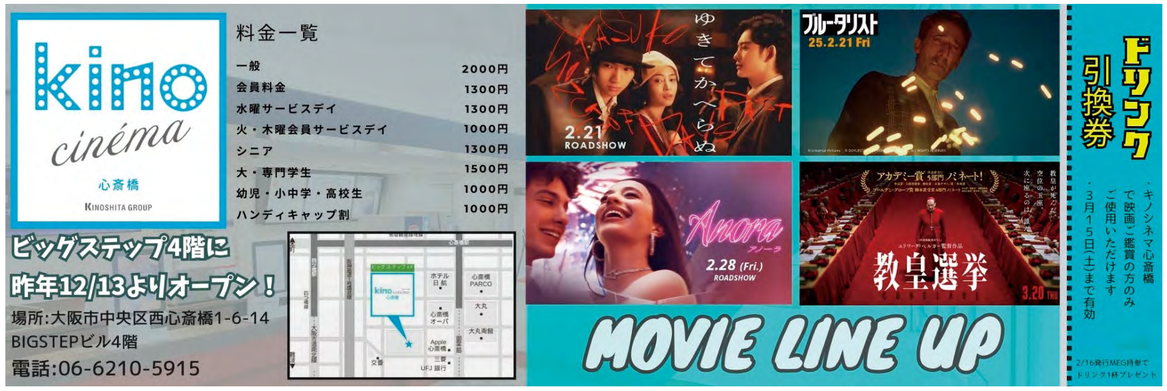
優美で心沸き立つ音楽と踊り、豪華さと楽しさを持つ、ウィーン・オペレッタの超人気作。阪哲朗指揮のもと、びわ湖ホール声楽アンサンブルが奏でるラブコメディーをお見逃しなく!



■出演／並河寿美、船越亜弥、市川雅敏、迎 肇聡、島影聖人、竹内直紀、びわ湖ホール声楽アンサンブル ほか

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 中ホール　■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定　一般¥6,050
青少年(24歳以下)¥2,200　シアターメイツ¥1,100
■チケット取扱い／下記①②③④　■Pコード／288-343
■Lコード／56654　※6歳以上入場可 ※シアターメイツチケットは①のみ取扱い

チケット取扱い　①びわ湖ホールチケットセンター ☎077-523-7136(10:00～19:00 火曜休館) https://www.biwako-hall.or.jp/
②チケットびあ https://t.pia.jp　③ローソンチケット https://l-tike.com　④イープラス https://eplus.jp　⑤楽天チケット https://r-t.jp/

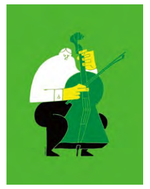


フェニーチェ堺

TEL.072-223-1000 《お問合せ　https://www.fenice-sacay.jp/ 《チケット購入OK

2/13 THURSDAY ～23 SUNDAY HOLIDAY
TAKAO FUJIOKA ジャズアート展

入場無料



大阪から世界で活躍する気鋭のアートディレクター、TAKAO FUJIOKA。世界3大ジャズフェスのひとつ「ニューポート・ジャズ・フェスティバル」のメインビジュアルを担当し、米ジャズジャーナリスト協会主催の「Album Art of The Year」にノミネートされるなど、国内外のジャズシーンで注目されています。
TAKAO FUJIOKAが手がけたポスターやアルバムジャケット、2009年創刊のジャズマガジン「WAY OUT WEST」表紙イラストの原画など、独自のタッチがきわだつ作品をご覧ください。

■会場／フェニーチェ堺 1F 交流・創作ホール
■時間／10:00～20:00(最終入場19:30) ※2月17日(月)は休館
■料金／無料

3/1 SATURDAY
THE フェニーチェ文楽「魂がゆくえ ～預ける命 捧げる命～」

チケット発売中

人形浄瑠璃文楽の人形遣い桐竹勘十郎(人間国宝)が発意・監修。玉手御前、八重桐という2人の女性を軸にして、燃えたぎる"覚悟の血"をテーマにした名作をお届けします。
[第一部]『摂州合邦辻(せっしゅうがっぽうがつじ)』合邦庵室(がっぽうあんじつ)の段
■出演／竹本錣太夫、竹澤宗助、桐竹勘十郎 ほか
[第二部]『嬶山姥(こもちやまんば)』廓噺(くるわばなし)の段
■出演／豊竹呂勢太夫、鶴澤藤蔵、桐竹勘十郎 ほか
躍進著しい「木ノ下歌舞伎」の主宰・木ノ下裕一をゲストに迎え、桐竹勘十郎らと古典芸能の魅力を語り合う漫談コーナーもお楽しみに。



■会場／フェニーチェ堺 小ホール
■開演／[第一部]12:00　[第二部]15:00
■料金(税込)／全席指定 各部¥5,500
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
※未就学児入場不可
※やむを得ない事情により内容が変更となる場合があります
◎制作協力 ／一般社団法人 日本の伝統芸能
◎協力 ／関西舞台株式会社

3/22 SATURDAY
サー・アンドラーシュ・シフ指揮「カペラ・アンドレア・バルカ」

チケット発売中

◎曲目／J.S.バッハ:ピアノ協奏曲 第3番 ニ長調 BWV1054、ピアノ協奏曲 第5番 ヘ短調 BWV1056、ピアノ協奏曲 第7番 ト短調 BWV1058、ピアノ協奏曲 第2番 ホ長調 BWV1053、ピアノ協奏曲 第4番 イ長調 BWV1055、ピアノ協奏曲 第1番 ニ短調 BWV1052


©Angelo Nicoletti

最後のアジアツアー!

ピアノの巨匠が丹念に描き出すバッハの原点――。
美しく澄み渡った音色で世界中のクラシックファンを魅了してやまないピアニスト、サー・アンドラーシュ・シフ。現代最高峰のバッハ奏者として比類なき地位を築く彼が、自身の室内オーケストラ「カペラ・アンドレア・バルカ」を率いて、最後のアジアツアーに臨みます。
普段はソリストや室内楽奏者として活動する一流の演奏家たちと音楽界の至宝シフによる、西日本では最後となる珠玉のオール・バッハ・プログラムをご堪能ください。


©Nadja Sjöström

■会場／フェニーチェ堺 大ホール
■開演／17:00
■料金(税込)／全席指定　S¥14,000　A¥12,000　B¥10,000　C¥8,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／280-051
■Lコード／52242
※未就学児入場不可
※やむを得ない事情により出演者が変更となる場合があります

3/30 SUNDAY
100チェロ・コンサート「チェロよ、歌え!」

チケット発売中

◎出演／ジョヴァンニ・ソッリマ、エンリコ・メロッツィ、公募により選ばれた100名以上のチェリスト ◎予定曲目／J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第1番 プレリュード、ブラームス:ピアノ協奏曲 第2番、ヘンデル:サラバンド、レナード・コーエン:ハレルヤ ほか


©石田昌隆

©石田昌隆

見逃せない! 見逃すな!

イタリアが誇る鬼才チェリスト、ジョヴァンニ・ソッリマと盟友エンリコ・メロッツィを中心に、世代やキャリア、国境を越えて160人超のチェリストが集結!会場全体をひとつにし、観客を熱狂の渦に巻き込むかつてないステージが、ついに堺に上陸します。
音楽一家に生まれたソッリマは、誰もが驚嘆する超絶技巧とたぐいまれなる作曲能力の持ち主でありながら、音楽理論や慣習にとらわれない自由な発想でダイナミックな演奏活動を行い、世界中のチェリストを魅了し続ける巨匠。
今回の100チェロについて「"分かち合う"ということや、"共通の財産としての音楽"を念頭においている。様式的、叙情的、文化的なあらゆる垣根も取り払おうというのが目標でもあり、そしてそれは、クラシック音楽の儀式という文脈から一歩踏み出すという意図も持っている」と語ります。
本番に向けたクリエイション(音合わせ・音作り)ではソッリマを含む出演者が3日間を共にし、濃厚な時間を過ごしながら、互いの音楽や人間性を理解していきます。ソッリマの自由で豊かな音楽観にふれ、演奏者として刺激を受けたチェリストたちとソッリマが立ち上げる圧巻のオーケストラサウンドは、生命の躍動そのもの! 聴く人の人生観をも変えてしまうという、一生に一度の体験をお楽しみください。


©2012 Almendra Music

■会場／フェニーチェ堺 大ホール
■開演／15:00
■料金(税込)／全席指定　一般¥7,000　子ども(4～18歳)¥3,500
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／278-387　■Lコード／51673
※やむを得ない事情により内容が変更となる場合があります

チケット取扱い　①堺市文化振興財団チケットセンター ☎0570-08-0089　②フェニーチェ堺公式HP https://www.fenice-sacay.jp/　③フェニーチェ堺総合窓口(9:00～20:00 第1・3月曜日休館) 堺市堺区翁橋町2-1-1
④チケットびあ https://t.pia.jp　⑤ローソンチケット https://l-tike.com　⑥イープラス https://eplus.jp



大阪4オーケストラ クラシックの広場

Osaka 4major Orchestras
Plaza of Classical Music

大阪を拠点に活動する4つのプロのオーケストラが“クラシック音楽の魅力”をお届けします。
貴方も気軽にオーケストラと、オーケストラの奏でる素晴らしい音楽に触れてみませんか?!

大阪フィルハーモニー交響楽団

TEL.06-6656-4890 http://www.osaka-phil.com

4/11 FRIDAY
4/12 SATURDAY

第587回定期演奏会

■チケット発売中

○指揮／尾高忠明 ○メゾ・ソプラノ／マリー＝ヘンリエッテ・ラインホルト ○テノール／マクシミリアン・シュミット ○バリトン／大山大輔 ○合唱／大阪フィルハーモニー合唱団 ○曲目／エルガー:オラトリオ「ゲロンティアスの夢」作品38


©Martin Richardson

エルガー作品の普及に功績があった人物に授与されるエルガーメダルを日本人として初めて受章した尾高忠明。大阪フィルとは交響曲を中心に取り組んで来ましたが、音楽監督8期目のシーズン最初に、満を持して名作「ゲロンティアスの夢」に取り組みます。独唱者には欧州の歌劇場で大活躍のラインホルト、シュミット、大阪フィルと共演も多い大山大輔、そして壮大なコラールを歌い上げるのは進境著しい大阪フィルハーモニー合唱団。感動的な大作を最強の布陣で挑みます。

■会場／フェスティバルホール
■開演／4月11日(金)19:00　4月12日(土)15:00
■料金(税込)／全席指定　A¥7,000　B¥5,500　C¥3,500　BoxR¥8,000　学生(25歳以下・学生)¥1,000
■Pコード／288-421
※未就学児入場不可

取扱い ①大阪フィル・チケットセンター ☎06-6656-4890 ②チケットぴあ https://t.pia.jp ③イープラス https://eplus.jp ④フェスティバルホール ☎06-6231-2221

福島章恭

エルガー・メダルを授与された尾高忠明が挑む、オラトリオ「ゲロンティアスの夢」



■SPECIAL INTERVIEW

── オラトリオ「ゲロンティアスの夢」を、福島さんは指導されたことはありますか?

今回が初めてですが、大フィル合唱団を預かる立場として、いつか演奏するだろうと気持ちの準備はしていました。合唱が難しいだけに尾高先生から「やろう!」と言っていただいたときには、「いよいよ来たか」と武者震いしたものです。今シーズン冒頭をこの作品で飾ろうというマエストロの想いを胸に、合唱を鍛え上げて臨みます。

── 関西初演とのことですね。

わたし自身、実演で聴いたのはただ一度、2018年ジョナサン・ノット指揮の東響定期のみ。日本では馴染みの薄い作品ですが、本国イギリスでは、ヘンデル「メサイア」、メンデルスゾーン「エリア」に匹敵する国民的人気曲とのこと。英国国教会の国イギリスで、カトリック信仰を全面に打ち出した本作が広く受け入れられたということは、よほどの美しさがないとおよび得ないことです。「威風堂々」「エニグマ変奏曲」「チェロ協奏曲」「交響曲第1番」「愛の挨拶」などの魅力を感じたことのある方には、もうひとつの心の宝物となるでしょう。

── どのようなストーリーですか?

ざっくり言うと、第1部は、死の間際にある老人ゲロンティアスが昇天するまで、第2部は肉体を離れた魂が天使に導かれ、祝福されるという物語。悩めるゲロンティアスが神に出会い迎え入れられるまでの成長物語、一種のサクセスストーリーとも言えるでしょう。

── 合唱団の役割は

バッハのふたつの受難曲では、信心深い会衆となってコラールを歌ったり、ときにイエスを殺せという群衆の暴徒となったりしますが、本作でも複数の役割を演じます。死にゆくゲロンティアスを励ます友であったり、堕落させようとする悪魔であったり、祝福する天使であったり、その幅広さに面白みがあります。

── 合唱指揮者のやり甲斐を教えて下さい。

私は、事前にマエストロの音源を聴いて「ここでテンポが変わるはずだからこうしよう!」といった傾向と対策的なことはやりません。自分が作り込んだ音楽が、マエストロの指示を受けて、本番の舞台でどんな化学変化を起こし、想像の上を行くのか、予想の範囲内で終わるのか。それを客席で見届けるのが、合唱指揮者の醍醐味です。大空間のフェスティバルホールにどんな歌声が響くか、楽しみでなりません。

── レッスンを重ねる上で難しさがありますか?

まず、テキストが英語であると言うこと。わたしが就任してからは、ラテン語、ドイツ語、ロシア語、ヘブライ語、そして日本語の作品に取り組んできましたが、英語ははじめてなのです。母音の数が多く、その描き分けが日本語を母国語とする我々には困難です。改めて音声学を勉強し直して、団員に伝えるようにしています。無調であるとか、変拍子であるとか、そういう類いの難しさはないのですが、何気ないフレーズを正しいアーティキュレーションやアクセントで、美しく合理的な声で歌うことが本当に難しい。

── お客様にひとこと。

エルガー演奏にかけては世界的権威であられる尾高マエストロのもと、この作品のスペシャリストと呼べる盤石のソリスト陣、マリー＝ヘンリエット・ライン ホルト(MS)、マクシミリアン・シュミット(T)、大山大輔(Br)の三氏を迎えての公演ですから、大きな感動を呼ぶことに間違いはありません。特に、ラストの清らかで平安な境地には、心が浄化されることでしょう。聴くほどに味わいの染み出る作品なので、YouTubeなど、字幕付き動画で予習されることをお勧めしますが、はじめて聴かれる方にも、字幕でストーリーを追いながらお楽しみいただけると思います。どうぞ、至福のひとときをご堪能ください。

◎Interview&Text／礒島浩彰

関西フィルハーモニー管弦楽団

TEL.06-6115-9911 https://kansaiphil.jp

4/29 TUESDAY HOLIDAY

第354回定期演奏会

■チケット発売中

○指揮／藤岡幸夫 ○ヴァイオリン／神尾真由子 ○男声合唱／関西フィルハーモニー合唱団 ○曲目／ヴォーン・ウィリアムズ:揚げひばり、プロコフィエフ:ヴァイオリン協奏曲第1番、レスピーギ:交響詩「ローマの噴水」、伊藤康英:管弦楽のための交響詩「くるりよど」


©SHIN YAMAGUCHI


©Masato Kamiya

藤岡総監督・首席指揮者との新たな船出を祝うカラフルなひと時！吹奏楽の超人気作《くるりよど》のオーケストラ版は、オルガンパートを加えた改訂版での初演。《ローマの噴水》との組み合わせは“音楽的な共通点を踏まえ挑戦してみたかった”という、マエストロ念願のプログラム。また2年半ぶりに登場のソリスト神尾真由子は、「最も得意とするナンバー」と語る2曲、春の季語でもある《揚げひばり》と、夢幻の世界をたゆたうプロコフィエフの《第1番》を堂々披露します。なお本公演では、小中学生の親子ペア10組20名を抽選でご招待する「大和証券シート」を設置。お申込み詳細は楽団HPをご覧ください。

■会場／ザ・シンフォニーホール　■開演／14:00(13:40～藤岡幸夫によるプレトーク開催)
■料金(税込)／全席指定　S¥6,500　A¥5,000　B¥3,500　C¥2,500　学生席(25歳以下)¥1,000
■Pコード／287-792　※未就学児入場不可
○協賛／大和証券グループ ○特別協賛／ダイキン工業株式会社

取扱い ①関西フィルハーモニー管弦楽団 ☎06-6115-9911 ②関西フィルWebチケット https://yyk1.ka-uku.com/kansaiphil-s ③ザ・シンフォニー チケットセンター ☎06-6453-2333(火曜定休) http://www.symphonyhall.jp ④イープラス https://eplus.jp ⑤チケットぴあ https://t.pia.jp

藤岡幸夫

2025年度より藤岡幸夫が総監督・首席指揮者に就任。指揮者陣も新体制に。


©SHIN YAMAGUCHI

■SPECIAL INTERVIEW

── 総監督というタイトルは日本のオーケストラではあまり馴染みがありません。

関西フィルのような行政の補助金のないオーケストラの監督は、スポンサーを集めたり地域とのコミュニティを強化したり、やる事が沢山あります。これまでは音楽監督デュメイ氏の音楽面以外のサポートを僕がやってきました。「総監督」の名称は総合的な役割を考慮してですが、僕がやる事は何も変わりません。報酬も変わらない(笑)。しかし、外に打って出るには必要なタイトルです。

── テレビの影響で全国区人気の藤岡さんですが、変わらず地方の公演なども指揮されていますね。

関西フィルを25年間に渡り、毎年40公演指揮してきました。首席指揮者がこれだけ指揮をする楽団はありません。僕が来た25年前は公演数もレパートリーも少なく、5年ほどをかけて年間30公演増やし、徹底して定番曲を演奏しました。その後、ヴァイオリンの巨匠デュメイ氏が音楽監督を14年も務めてくれたおかげでステイタスが上がり、演奏技術が向上しただけでなく、彼の名前で2度のヨーロッパツアーを敢行。並行して、テレビ番組「エンター・ザ・ミュージック」も始まり、全国的に知名度が上がりました。今回総監督になったのは長年の懸案事項である、楽員・スタッフの給与アップ問題に善手するためです。関西フィルはこれまで赤字を出さない健全経営で来ていますが、もう一つ上のクオーケストラを目指すには、待遇面の改善は必須。5年計画でやり遂げますよ。

── 新たな指揮者体制ですが、藤岡さん以外に首席客演指揮者に鈴木優人、アーティスティック・パートナーにリオ・クオクマン、そしてデュメイ名誉指揮者に就任しました。

思い描いていた体制です。リオ・クオクマン氏が引き受けてくれて良かったです。彼は2017年の初共演の印象があまりに鮮烈だったので、楽員も喜んでいます。鈴木優人氏には、デュメイ氏が担当していたいずみホールシリーズをお任せしたところ、3年かけてのベートーヴェンのシリーズを企画してくれました。捻りが利いて大満足！ 名誉指揮者のデュメイも引き続き定期演奏会に登場します。ご期待ください。

── 来シーズン、定期演奏会と「第九」で全10公演の内、藤岡さんの出番は3回です。

4月の定期演奏会には神尾真由子さんが登場し、プロコフィエフの協奏曲 第1番とV.ウィリアムズの「揚げひばり」を弾いてくれます。彼女の「揚げひばり」は、関西フィルから皆様へのプレゼント。吹奏楽の名曲「くるりよど」の管弦楽版も、レスピーギ「ローマの噴水」と同時に演奏したいという長年の夢が実現!「くるりよど」にもオルガンを加えた新バージョンでお聴きください。昨年からマーラーの交響曲チクルスがスタート。昨年が第1番で今年が第6番。7月の「悲劇的」はエネルギーに満ち溢れていて、その象徴がハンマー。とにかく大きなハンマーを捜しています。10月は大好きなヴェルディの「レクイエム」。「怒りの日」が目立ち、オペラチックに歌い上げるスタイルが一般的ですが、僕はピアニッシモにこだわった緻密なアンサンブルでお聴き頂きます。新生関西フィルをよろしくお願いします。

◎Interview&Text／礒島浩彰

大阪交響楽団

TEL.072-226-5522 https://sym.jp

4/25 FRIDAY

第279回 定期演奏会
［林 七奈 ソロコンサートマスター就任記念］

■チケット発売中

○指揮／山下一史(常任指揮者) ○ソロコンサートマスター／林 七奈 ○曲目／モーツァルト:ディヴェルティメント 第17番 ニ長調 K.334(320b)、セレナード 第7番 ニ長調「ハフナー」K.250(248b)(Solo:Vn 林 七奈)


©ai ueda


©K.Miura

新シーズン第1回目の定期演奏会は2025年より3年間、任期延長となった常任指揮者の山下一史のタクトでお贈りいたします。モーツァルトのディヴェルティメントの中では最も有名な曲の一つ、第17番で華々しく幕を開きます。そして同じニ長調の「ハフナーセレナード」として俗に呼ばれる、セレナード 第7番。第2～4楽章の独奏ヴァイオリンは昨年ソロコンサートマスターに就任した林 七奈が務めます！2管10型の編成で挑むこの演奏会は、ほぼ大阪交響楽団のメンバーのみで構成される予定。今年で創立45周年を迎える大阪交響楽団のサウンドを心ゆくまでご堪能ください。

■会場／ザ・シンフォニーホール　■開演／19:00(プレトーク18:45)
■料金(税込)／全席指定　S¥6,000　A¥5,000　B¥3,500　C¥2,500　D¥1,000(楽団WEB前売限定)　オルガン¥2,000　［青少年学生券］1回券¥1,000　5回券¥4,000　※青少年学生券は下記ぶん(電話)のみ取扱い
■Pコード／284-984　※未就学児入場不可

取扱い ①大阪交響楽団チケットセンター ☎072-226-5522(平日10:00～17:00) https://sym.jp ②イープラス https://eplus.jp/sym ③ザ・シンフォニー チケットセンター ☎06-6453-2333 http://www.symphonyhall.jp ④チケットぴあ https://t.pia.jp

林 七奈

林七奈がソロコンサートマスターに就任。4月の定期演奏会でお披露目。


©飯島隆

■SPECIAL INTERVIEW

── 2025年度のオープニングを飾る「第279回定期演奏会」は、林さんの「ソロコンサートマスター就任記念」のお披露目です。

ソロコンマスには、2024年に就任しました。私は2005年にコンマスとして大阪交響楽団に入団したので、今年がちょうど20周年となり、キリが良いタイミングでのお披露目となりました。

── オール・モーツァルト・プログラムでのお披露目。少し意外でした。

常任指揮者の山下一史さんがR.シュトラウス好きな事も有って、大きな曲は普段から演奏する機会が多いので。折角チャンスを頂いたので、「これが私たちの音楽です！」という名刺代わりの“大阪響サウンド”をお客様にお聴き頂きたいと思い、モーツァルトの隠れた名曲を選曲しました。山下さんからは、コンマスの目立つ華やかな曲を勧めて頂きましたが、私の思いをお伝えし、我儘を通させて頂きました。山下さんは「なるほど。それなら前半の曲は僕に任せてください？」という事で上がって来たのがモーツァルトのディベルティメントで、皆さまよくご存知の K.136やK.138ではなく、k.334。モーツァルトはアンサンブルや音程、リズムが整わないと良い演奏にはなりませんが、この k.334は技術的にも難曲で、取り組み甲斐のある曲です。山下さんとやりたい曲が合致して嬉しかったです。

── セレナード第7番の魅力もお願いします。

演奏時間にして1時間近くかかる大変長い曲で演奏機会は少ないですが、名曲中の名曲です。全8楽章の曲で、コンマスのソロは2楽章、3楽章、4楽章に登場します。この2曲を定期で取り上げ、3日間かけてモーツァルトの音楽に向き合うことは、私にとってもメンバーにとっても、今後の楽団を占う上で核となる演奏会になるはずです。山下マエストロのモーツァルトを、私も楽しみにしています。

── サイトウ・キネン・オーケストラでもコンサートマスターをやられた林さん。大阪響とはどんな違いがありますか。

話を頂いた時、あのすごいメンバーの中で自分はどうなるのか不安でしたが、いざコンマスの席に座ってみると心地よい緊張感に包まれ、とても冷静でした。コンマスとしての役割は同じです。必要なセカンドとアインタクトを取りつつ、管楽器のブレスのタイミングを計ったり、ここはこの楽器を聴こう。ここは皆と呼吸を合わせたい！といった私のやり方で進めました。意外なことにコンマスとしての役割は二つのオケに違いはありませんでした。

── 関西弦楽四重奏団もすっかり定着しましたね。昨今の林さんからも、揺るぎない自信というか貫録さえ感じます。

年齢を重ね経験を積むことと引き換えに、体力的な衰えは仕方がないのかもしれませんが、コンマスという以上ショボイ演奏は出来ません。「あれが私たちのリーダーなのか？！」と思われるようなメンバーの士気に関わります。家事や育児は大変ですが、以前からやりたかったカルテットの活動は度胸が付き、私には必要でした。周りからも「この2年くらいでキャラも演奏も変わったね。強い意志を感じる」と言われます。コンマスもカルテットも、もちろん家事・子育てすべてを“やり切り”ます！4月の定期演奏会、ぜひお越しください。

◎Interview&Text／礒島浩彰

日本センチュリー交響楽団

TEL.06-6848-3311 https://www.jcso.or.jp

4/23 WEDNESDAY

第289回定期演奏会

■チケット発売中

○指揮／下野竜也 ○チェロ／笹沼 樹 ○曲目／ブランク:バレエ組曲「牝鹿」FP36、デュティユー:チェロ協奏曲「遥かなる遠い国へ」、ベートーヴェン:交響曲 第5番 ハ短調 作品67「運命」


©Shin Yamagishi


©Taira Tairadate

ベートーヴェンと1950年代以降の現代作品をコンセプトにお届けする2025-26シーズン。
開幕の4月は、当初指揮を予定していた秋山和慶マエストロの急逝をうけて、下野竜也氏を迎えます。センチュリーとは約19年ぶりの再会でどのような音楽を描くのか、期待が高まります。ソリストはソロから室内楽、オーケストラまで多彩な活躍で注目の俊英・笹沼樹がセンチュリー初登場！
見どころ聴きどころ満載の公演にお出かけください。

■会場／ザ・シンフォニーホール
■開演／19:00
■料金(税込)／全席指定　S¥10,000(特典付)　A¥7,000　B¥5,500　C¥4,000　D¥3,000
■Pコード／289-076
■ヨコード／58089
※未就学児入場不可

取扱い ①センチュリーチケットサービス ☎06-6848-3311(平日10:00～18:00) https://www.jcso.or.jp/ticket/ ②ザ・シンフォニー チケットセンター ☎06-6453-2333 http://www.symphonyhall.jp ③チケットぴあ https://t.pia.jp ④ローソンチケット https://l-tike.com ⑤イープラス https://eplus.jp

笹沼樹

若き俊英チェロの笹沼樹、日本センチュリー交響楽団の定期演奏会デビュー！


©Taira Tairadate

■SPECIAL INTERVIEW

── 日本センチュリー交響楽団の2025年度シーズン最初の定期演奏会で、デュティユーのチェロ協奏曲「遥かなる遠い国へ」を演奏されます。秋山和慶さんの急逝の報には驚かれた事でしょう。

昨年9月、サントリーホールの客席で「秋山和慶指揮者生活60周年記念」のブルックナー交響曲 第4番「ロマンティック」を聴いたのですが、あの時の第3楽章が忘れられません。この日、視覚的な記憶は何故か全く無く、スケルツォのリズムから来るパルス、脈感が僕自身にインストールされたような感じになって、それ以来身体から抜けないのです。秋山先生とはドイツものでの共演はありますが、フランスで勉強している僕にとって大切なデュティユーでの共演は夢のような話。尊敬するマエストロだけに、残念でなりません。

── 現在、フランスで勉強されていますが、フランス国民にとって、デュティユーはどんな作曲家でしょうか。

コロナ禍の2022年、30歳を前に突然思い立ってフランスに渡りました。実は、その年の6月に彼の弦楽四重奏曲「夜はかくの如し」を含む、オール・フランスプログラムをカルテット・アマービレで取り上げました。そのタイミングではまだ、自分がフランスで勉強するとは思っていませんでした。コロナ禍で仕事もストップし、自分は何がしたいのかを考えていた時に、見たことの無いフランスに行って見ようと思ったのです。日本では知られていないデュティユーですが、フランスでは国民的な存在の作曲家で、彼の作品は演奏会でもよく取り上げられます。コンチェルトとは別に、チェロの人気ソロ曲もあって、フランスだけじゃなく、ヨーロッパ中のチェリストがこぞって弾いています。

── チェロ協奏曲「遥かなる遠い国へ」の魅力や聴きどころを教えてください。

当時、彼が好んで読んでいたボードレール「悪の華」より「髪」の第二連の一節からタイトルが取られています。1970年の曲ですが、無調や12音技法による現代作品とは一線を画した曲です。彼の作品には楽章ごとに標題が付く事が多く、それが聴く上での手立てとなります。切れ目のない単一楽章の曲ですが、5楽章から成り立っています。それぞれ1楽章が「謎」、2楽章が「眠差し」、3楽章が「海のうねり」、4楽章が「錬」、5楽章が「謎歌」となっています。音楽は標題と具体的に語っている訳ではありません。このタイトル「遥かなる遠い国へ」も、曲を聴くと「なるほど」と腑に落ちるものではありませんし、ドイツ音楽のように、容易に聞こ落ちないからこそ、魅力があるのだと思います。

── 日本センチュリー交響楽団との共演について、メッセージをお願いします。

フランスではジブリ映画をNetflixでも気軽に視聴することができ、久石譲さんの人気は絶大です。ミニマル系の現代作曲家や指揮者としても知られる久石さんが音楽監督を務める日本センチュリー交響楽団は、カルテット仲間の篠原悠那が客員コンマスを務め、チェロの首席は大好きな北口大輔さん。親しみがあります。指揮は、秋山先生の思いを受け継ぐ下野竜也さんへバトンタッチ。大切なシーズン最初の定期演奏会、ぜひ会場にお越しください。

◎Interview&Text／礒島浩彰

大阪フィルハーモニー交響楽団 第587回 定期演奏会
英国が生んだ史上最高のオラトリオ（宗教的音楽劇）、関西初上陸!!


©Martin Richardson

©Christian Palm

©Christian Lang

©Vyacheslav Fukeyev

指揮：尾高 忠明
メゾ・ソプラノ：マリー＝ヘンリエッテ・ラインホルト
テノール：マクシミリアン・シュミット
バリトン：大山 大輔
合唱：大阪フィルハーモニー合唱団（合唱指揮：福島章恭）

ゲロンティアスが最後に見た夢 ～天国へ向かう魂の旅～ エルガー：オラトリオ「ゲロンティアスの夢」作品38

4月11日(金)19:00・12日(土)15:00 フェスティバルホール

A席7,000円 B席5,500円 C席3,500円 BOX席8,000円 学生席1,000円（全席指定・税込）
※未就学児入場不可

発売中 大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890 ◆各プレイガイドでも発売中!
月～金10:00～18:00・土10:00～13:00・日祝休

関西フィル「定期演奏会・特別演奏会」全10公演をお聴きいただくなら、スペシャルな特典満載の「関西フィル友の会」が断然お得です!

全10公演をお得に聴ける!! 2025-2026シーズン 関西フィル友の会 定期会員 入会のご案内

注目の公演 2025年度
定期・特別演奏会　2025年 4/29・5/16・6/22・7/11・9/15・10/4・11/7・12/27　2026年 2/20・3/19
7/11(金)＆10/4(土) 藤岡幸夫が大作に挑む！マーラー6番「悲劇的」&ヴェルディ「レクイエム」
6/22(日) アジアの俊英 リオ・クオクマン がアーティスティック・パートナーに就任!!
'26 2/20(金) 再登場のオグリンチュク（指揮）× 定期初登場 上野通明（Vc） ヴァイニャルのチェロ協奏曲は約70年ぶりの国内演奏！

毎回お客様専用のお座席をご用意!! シート会員
SS会員 …… 年会費 ¥58,000 ♪お客様専用のS席でお聴きいただきます。♪年間4回、定期演奏会以外の主催公演にペアでご招待いたします。
S会員 …… 年会費 ¥38,000 ♪お客様専用のS席をご用意 ♪個別にS席チケットをお求めいただくより、40%以上もお得です!
A会員 …… 年会費 ¥31,000 ♪お客様専用のA席をご用意 ♪個別にA席チケットをお求めいただくより、40%近くお得です
B会員 …… 年会費 ¥27,000 ♪お客様専用のB席をご用意 ♪個別にB席チケットをお求めいただくより、20%以上もお得です!

学生だけの特別価格! 学生会員 年会費 ¥6,000 ※25歳以下の学生対象 ○演奏会当日、クワイア席の座席指定券とお引換。○毎回違ったお席でお楽しみいただけます。

お申込み期間 2025 3/14(金)まで ◆その他特典多数、詳しくは公式HPで

お申込 お問合せ 関西フィルハーモニー管弦楽団 [平日10:00～17:00 土曜10:00～16:00 日・祝休] Tel.06-6115-9911

大阪交響楽団 創立45周年記念シリーズ
名曲コンサート2025


©飯島隆


©Kevin Condon

5.18 2025【日】 第136回 名曲コンサート
指揮／柴田 真郷　ピアノ／戸村 奈央
リムスキー＝コルサコフ：交響組曲「シェヘラザード」ほか

9.14 2025【日】 第137回 名曲コンサート
指揮／山下 一史　ピアノ／菊池 洋子
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第1番、第5番「皇帝」ほか

1.18 2026【日】 第138回 名曲コンサート
指揮／髙橋 直史　ヴァイオリン／ルエン・リー
ムソルグスキー／ラヴェル編：組曲「展覧会の絵」ほか

ザ・シンフォニーホール
主催：公益社団法人 大阪交響楽団　特別協賛：大和ハウス工業株式会社

チケット料金（全席指定・税込）
販売期間 5月15日まで
S席3回セット 12,000円
A席3回セット 10,500円
＋1,000円で ザ・シンフォニーカフェ ドリンク券を追加できます。
MEG特典 郵送手数料500円無料
お申込み時「MEGを見た」とお伝えください。(※ロ申し込みのみ)
単公演チケットは各4か月前より発売開始、未就学児のご入場はご遠慮ください。
チケット予約・お問い合わせ 大阪交響楽団 https://sym.jp/ ☎072-226-5522(平日10:00～17:00)


©Nick Rutter

久石譲 指揮 日本センチュリー交響楽団 決定 北摂定期演奏会
北摂を拠点とする日本センチュリー交響楽団が贈る北摂定期演奏会。
久石譲音楽監督就任イヤーは各シンフォニー定期に続いて全3ヶ所で開催します!

シンフォニー定期
6/13[金] 開演19:00【発売中】 ザ・シンフォニーホール
◎指揮／久石 譲 ◎曲目／ベートーヴェン:交響曲 第6番「田園」、久石譲:交響曲 第2番

茨木公演 6/12[木] 開演19:00【発売中】［共催］公益財団法人茨木市文化振興財団 茨木市文化・子育て複合施設 おにクルゴウタオール
◎指揮／久石 譲 ◎曲目／ベートーヴェン:交響曲 第6番「田園」、久石譲:交響曲 第2番

高槻公演 9/27[土] 開演14:00【6/11(水)発売】［共催］公益財団法人高槻市文化スポーツ振興事業団 高槻城公園芸術文化劇場 トリシマホール
◎指揮／久石 譲 ◎合唱／日本センチュリー合唱団 ◎曲目／ベートーヴェン:交響曲 第1番、久石 譲:Adagio for 2 Harps and Strings、ラヴェル:ダフニスとクロエ 第2組曲(合唱付き)

箕面公演 '26 1/16[金] 開演19:00【10/16(木)発売】 箕面市立文化芸能劇場 大ホール
◎指揮／久石 譲 ◎ハープ／エマニュエル・セイソン ◎曲目／久石 譲:Encounter for String Orchestra、ハープ協奏曲、ベートーヴェン:交響曲 第3番「英雄」

◎料金[北摂3公演共通] S¥4,500 A¥3,500 B¥2,500（全席指定・税込）
お問合せ センチュリー・チケットサービス ☎06-6848-3311(平日10:00～18:00) https://www.jcso.or.jp/ticket/

弾む音符の向こう側♪

writing by Hiroaki Isojima

#26「大阪4オケ」2024年度を振り返り、2025年度を展望する

色々あった2024年度のクラシック音楽界ですが、オーケストラの事務局は最後の定期演奏会の集客を意識しつつ、来シーズンに向けた準備に余念がないといった所でしょうか。それにしても今年度は、悲しい出来事が多すぎました。新年と同時に飛び込んで来た指揮者　秋山和慶さんの悲報は、日本中のオーケストラに衝撃を与えました。指揮者界の長老ですが、多くのオーケストラを指揮されていただけに、現場は混乱している事でしょう。3月の「第586回定期演奏会」で指揮を予定していた大阪フィルは、急遽ジェームズ・フェアリッ氏への変更を発表。大阪フィルと秋山さんの関係は長く深く、幅広いレパートリーは名演の宝庫でしたね。ミュージックアドバイザーを務める日本センチュリー交響楽団は、3月の「豊中名曲シリーズvol.33」は培内悠希さんへ、4月の「第289回定期演奏会」は下野竜也さんへの指揮者変更を発表しました。楽シーズンからの久石譲体制ではキーマンのお一人だっただけに、楽団もご苦労をされている事でしょう。秋山さんの明晰かつ流れるような美しい指揮から紡がれる、緻密でスケールの大きさを音楽が聴けなくなるのは、悲しい過ぎます。個人的に何度か取材をさせていただきましたが意外にも雄弁で、バンクーバのご自宅での日常の話などをお聞きできて幸せでした。何を隠そう私は秋山ファン。関係者で唯一サインをお願いしたのが秋山さんでした。謹んでご冥福をお祈りいたします。

そして、指揮者 井上道義さんが自らの意思で引退されました。ご自身の美意識なのでしょうか。若くからテレビでも活躍されましたし、京響ともつの時代を作られました。大阪フィルの首席指揮者時代は僅か3年でしたが、常に大阪フィルから革新の息吹を感じていました。重病を克服されても、またピンチが。満身創痍で指揮者を務め上げられた感じでしたね。しばらくはゆっくりして頂き、何年か後に気が向いて「振らしてくれ！」と言われても、絶対に皆さん大歓迎のはず。ショスタコーヴィチやブルックナーはもちろん素敵ですが、私は道義さんのモーツァルトが好きでした。

去る人がいれば、来る人がいるのも人生。来シーズンから日本センチュリー交響楽団には久石譲さんが音楽監督に就任されます。“ロックのようなベートーヴェン”と、現代音楽を身近に感じるチャンスを頂きたいと思っています。大阪フィルには松本宗利音さんが指揮者に、勝岡幸夫総監督率いる関西フィルには、リオ・クオクマン氏がアーティスティック・パートナーに就任されます。関西音楽界に“新しい風”を運んでください。大阪交響楽団は現在の指揮者3人体制の碇長が発表されました。3人に共通しているのが「歌心」。音楽の基本は「歌うように！」ですよね。「4月定期演奏会」の山下一史さんのモーツァルトが気になります。そして、小澤征爾さん、秋山和慶さんたき後、関西だけでなく日本のクラシック音楽界を背負って立つのは、やはり尾高忠明さんです。お身体をご自愛いただき、先ずは大阪フィル「4月定期演奏会」のエルガー「ゲロンティアスの夢」は聴き逃す訳にはいきません。2025年度も「大阪4オケ」は楽しみが尽きません。

礒島浩彰（音楽ライター）／エンターテインメントの仕事に携わること35年。エンタメは人を元気にするチカラがある。こんな時だからこそ、エンタメの魅力をみんなに届けたい！と、面白いネタを探しに、今日もホールや劇場を飛び回っている。

あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール

TEL.06-6363-7999 《チケット購入・お問合せ https://phoenixhall.jp/

Tea Time Concerts 2025

［6公演セット券（全席指定・税込）］一般¥24,000 友の会会員¥20,000（お一人様2席まで）

■6公演セット券販売期間／2月1日（土）～6月19日（木） ■チケット取扱い／下記① ◎友の会／入会金無料、年会費¥1,000、チケット割引あり、情報誌Salonお届け

◎平日の午後、梅田で、ゆったり上質なコンサートはいかがですか？

平日お昼間の気軽な雰囲気で、夜の演奏会にも劣らぬ上質の「生」の音楽をお楽しみいただける大人気シリーズです。
午後2時開演、4時頃に終演するので夜間に外出しづらい方にもお越しいただきやすいと好評です。

6/20 FRIDAY ティータイムコンサートシリーズ175 ワルター・アウアー フルートリサイタル

3/21（金）～チケット発売

◎フルート／ワルター・アウアー ◎ピアノ／沢木良子 ◎曲目／ボルヌ:カルメン・ファンタジー、ブーランク:フルートソナタ、プロコフィエフ:フルートソナタ ニ長調 op.94

ウィーンフィル首席奏者の矜持を聴く

2003年より20年以上に渡ってウィーンフィルハーモニー管弦楽団の首席奏者を務めるワルター・アウアーさん。ザ・フェニックスホールでは、コロナ期間中に2度の公演中止があり、満を持しての登場となります。意気込みはプログラムにも表れており、フルートの名曲が媒然と並びます。まさにフルートの王者による王道のプログラムです。フルートが好きな人は勿論の事、そうでない人にとってもフルートの醍醐味を存分に味わっていただけると思います。




■会場／あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール ■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥4,500（友の会会員¥4,050） 学生¥1,500 ■チケット取扱い／下記①②
※未就学児入場不可 ※託児サービス有（要申込） ※お菓子お土産付

7/24 THURSDAY ティータイムコンサートシリーズ176 パスカル・ロジェ ピアノリサイタル

3/21（金）～チケット発売

◎ピアノ／パスカル・ロジェ ◎曲目／ラヴェル:亡き王女のためのパヴァーヌ、鏡、ソナチネ、ドビュッシー:前奏曲集 第1巻

フランスの至宝、至極のピアニズム

近代のフランス音楽をそのまま体現するようなピアニストであるパスカル・ロジェ。繊細なタッチで紡ぎ出される淡く美しい音色はまさに当代無比。2025年は生誕150周年を迎えるラヴェルの記念年であり、「鏡」「亡き王女のパヴァーヌ」など、ラヴェルの代表曲を。後半はドビュッシーの前奏曲集第1巻という、ロジェが最も得意とするオール・フレンチ・プログラム。午後のひと時、極上の音楽をお楽しみください。



■会場／あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール ■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥5,000（友の会会員¥4,500） 学生¥1,500 ■チケット取扱い／下記①②
※未就学児入場不可 ※託児サービス有（要申込） ※お菓子お土産付

10/17 FRIDAY ティータイムコンサートシリーズ177 アマリリス弦楽四重奏団

3/21（金）～チケット発売

◎ヴァイオリン／グスタフ・フリーリングハウス、レナ・サンドゥ ◎ヴィオラ／マライケ・ヘフティ ◎チェロ／イヴ・サンドゥ ◎曲目／モーツァルト:弦楽四重奏曲 第23番 ヘ長調「プロイセン王 第3番」、バルトーク:弦楽四重奏曲 第6番、ブラームス:弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 op.51-2 ほか

ドイツ拠点の正統派

第6回メルボルン国際室内楽コンクールで第1位を獲得し世界的な評価を得てもなお進化を続ける世界トップレベルの弦楽四重奏団。ハイドンやベートーヴェン等、自らのルーツとなるドイツ系の音楽を求道し続ける一方、現代の音楽にも積極的に取り組み演奏の幅を常に拡大しています。今回演奏するのは弦楽四重奏曲の重要曲であるバルトークの6番と、ブラームスの2番。動と静、対局的ともいえる2曲がどのように演奏されるのか期待が膨らみます。



■会場／あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール ■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥5,000（友の会会員¥4,500） 学生¥1,500 ■チケット取扱い／下記①②
※未就学児入場不可 ※託児サービス有（要申込） ※お菓子お土産付
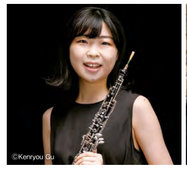
11/28 FRIDAY ティータイムコンサートシリーズ178 荒木奏美 オーボエリサイタル

7/18（金）～チケット発売

◎オーボエ／荒木奏美 ◎ピアノ／津田裕也 ◎曲目／ドビュッシー:美しき夕暮れ、ブレヴィーユ:オーボエとピアノのためのソナチネ、パスクッリ:「シチリア島の夕べの祈り」の主題による大協奏曲 ほか

まさに天上の音色、大注目のオーボエ奏者

学生時代に東京交響楽団のオーディションに合格し、首席奏者を務め、現在は読売交響楽団の首席奏者を務める荒木奏美さん。数々のコンクールで優勝するなど実力は折り紙付き。その上でお勧めしたいポイントは、彼女が奏でるオーボエの音色。美しく柔らかい音色はまさに唯一無二であり、その音を一度聞けば恍惚の境地へ誘われること間違いなしです。プログラムもオーボエの愉しさを感じて頂ける名曲揃い。今最も聴いて欲しいオーボエ奏者です。ご期待ください。





■会場／あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール ■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥3,500（友の会会員¥3,150） 学生¥1,000 ■チケット取扱い／下記①②
※未就学児入場不可 ※託児サービス有（要申込） ※お菓子お土産付

'26 1/22 THURSDAY ティータイムコンサートシリーズ179 新倉瞳&大萩康司 チェロとギターの調べ

7/18（金）～チケット発売

◎チェロ／新倉 瞳 ◎ギター／大萩康司 ◎曲目／ヘンデル:オンブラ・マイ・フ、シューベルト:アルペジョーネソナタ 短調 D821 ほか

柔らかな響きに包まれて

チェロとギター、ありそうでなかなかない組み合わせのコンサートです。新倉さん、大萩さん、それぞれがザ・フェニックスホールの主催公演で登場されたこともあるお馴染みの実力派。その二人が出会い協演する事で音楽の魅力が幾重にも膨らみます。今回はシューベルトのアルペジョーネソナタ、ヘンデルのオンブラ・マイ・フ等、クラシック音楽の名曲をお届けします。少し変わった楽器の組み合わせで聴く名曲は、これまでと違った楽しみができると思います。





■会場／あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール ■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥4,000（友の会会員¥3,600） 学生¥1,000 ■チケット取扱い／下記①②
※未就学児入場不可 ※託児サービス有（要申込） ※お菓子お土産付

'26 2/27 FRIDAY ティータイムコンサートシリーズ180 葵トリオ

7/18（金）～チケット発売

◎ヴァイオリン／小川響子 ◎チェロ／伊東 裕 ◎ピアノ／秋元孝介 ◎曲目／ブラームス:ピアノ三重奏曲 第3番 ハ短調op.101 ほか

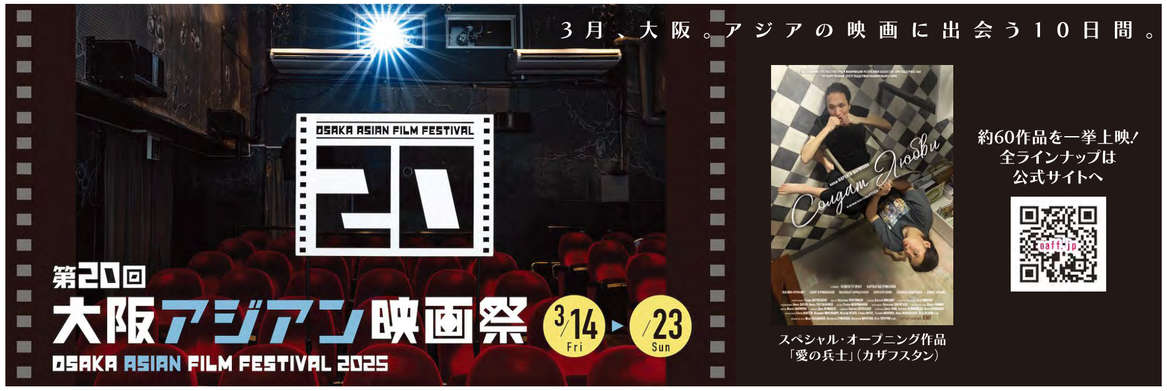
関西出身、ピアノトリオ最高峰

ザ・フェニックスホールで毎年のように登場し、馴染みの顔となってきた葵トリオ。昨年は現代音楽中心でしたが今回はブラームスを中心とした王道のプログラムを予定しています。葵トリオはそれぞれがオーケストラやソロでも活躍中ですが、トリオになった時の結束力が本当に素晴らしく、他の追随を許さない鉄壁のアンサンブルを楽しませてくれます。ご期待ください。



■会場／あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール ■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥4,000（友の会会員¥3,600） 学生¥1,000 ■チケット取扱い／下記①②
※未就学児入場不可 ※託児サービス有（要申込） ※お菓子お土産付

チケット取扱い ①ザ・フェニックスホールチケットセンター ☎06-6363-7999
②イープラス https://eplus.jp



茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）

TEL.072-625-3055 《お問合せ https://www.ibabun.jp 《チケット購入OK

3/2 SUNDAY 横山佳世子の邦楽サロン Vol.32 あら面白や歌舞音曲 夢の共演ファイナル

チケット発売中

◎演奏・お話／横山佳世子（地歌・二十五絃箏）◎ゲスト／花柳榮輔（日本舞踊）◎演目／地歌・舞踊「八千代獅子」、二十五絃箏曲・舞踊「琵琶行―白居易ノ興ニ效フ―」（伊福部昭作曲）、おはなし「邦楽・邦舞の面白プロ対談・質問コーナー」

千年以上過ぎても色あせない古典文学はじめ芸術文化や伝統の価値って何なのか？
どのように淘汰され生き残っているのか？
今回は過去に好評を博した「夢の共演シリーズ」最終回！
百聞は一見に如かず、有意義で唯一無二の邦楽サロンを一緒に創ってください。故きを温めて新しきを知る好機です。
このサロンに行けばどうなるものか、迷わず行けよ、行けばわかるさ！




■会場／茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）センターホール
■開演／14:00
■料金（税込）／全席自由 一般¥1,500 初めて割り¥1,000 小学生以上18歳以下¥500
■チケット取扱い／下記①⑥
※未就学児入場不可

6/8 SUNDAY 上方落語五流派競演会 Vol.19

2/26（水）～チケット発売

◎出演／桂 南光（桂米朝一門）、桂あやめ（五代目文枝一門）、笑福亭銀瓶（笑福亭松鶴一門）、桂 春蝶（三代目春団治一門）、林家染吉（林家染丸一門）、蝶花楼桃花（江戸落語ゲスト）※演目は当日のお楽しみ

魅惑の演者と円熟の話芸が繰り広げられるこの落語会は、上方落語界の5大流派の代表が一門の威信をかけて競い合う、唯一無二の催しです。
20年以上の歴史を誇る茨木市の名物イベントとして親しまれています。
一門の伝統を継承する演者たちが披露する深い話芸は、落語ファンのみならず誰もが楽しめる内容で、納得と満足をお約束します。








■会場／茨木市市民総合センター・センターホール
■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 1階席¥4,000 2階席¥3,500
65歳以上、障害者及びその介助者は各¥500引き
U-25（25歳以下）¥1,000
■チケット取扱い／下記①⑥⑦⑩
■Pコード／530-983 ■Lコード／51622
※未就学児入場不可
※財団の発売初日はweb・電話予約のみ
初日の電話予約は1回につき6枚まで
※チケット引取り・窓口販売は翌日から

フェスティバルホール

TEL.06-6231-2221 《チケット購入・お問合せ https://www.festivalhall.jp 《チケット購入OK

4/26 SATURDAY 祝祭大狂言会2025

チケット発売中

◎出演／野村万作（人間国宝）、野村萬斎、野村裕基 ほか ◎演目／［解説］野村萬斎、「見物左衛門 花見（けんぶつざえもん はなみ）」野村万作、「法螺侍（ほらざむらい）」野村萬斎、野村裕基 ほか、「MANSAIボレロ」野村萬斎






春を感じる野村家親子三代による大狂言会！

フェスティバルホールで2年に一度開催されている大狂言会。野村萬斎による演目解説で、狂言が初めての方も分かりやすくご覧いただけます。
まずは、一曲を通して一人が演じる珍しい狂言「見物左衛門 花見」を人間国宝・野村万作の至芸でご堪能ください。続いて萬斎、裕基の親子共演でシェイクスピア「ウィンザーの陽気な女房たち」が原作の新作狂言「法螺侍」を。そして、萬斎がラヴェルの名曲「ボレロ」と狂言の「三番叟」を軸とする珠玉の独舞「MANSAIボレロ」をフェスティバルホールでは12年ぶりに披露します。
フェスティバルホールの大舞台ならではの演出にもご期待ください♪

■会場／フェスティバルホール ■開演／15:00 ■料金（税込）／全席指定 S¥9,000 A¥7,000 B¥5,000 バルコニーBOX（2席セット）¥18,000
■チケット取扱い／下記②⑥⑦⑧⑨⑩ ■Pコード／530-898 ■Lコード／54944
※未就学児入場不可 ※バルコニーBOXは②（電話予約・窓口）のみ取扱い

Skyシアター MBS

TEL.06-6676-8466 《お問合せ https://stm-mle.jp/ 《チケット購入OK

3/1 SATURDAY Skyシアター MBSオープニングシリーズ 『オイディプス王』

チケット発売中

◎出演／三浦涼介、大空ゆうひ、岡本圭人、浅野雅博、外山誠二、大石継太、今井朋彦 ほか ◎作／ソポクレス ◎翻訳／河合祥一郎 ◎演出／石丸さち子

紀元前より約2500年にわたり世界の観客を惹きつけてやまないギリシャ悲劇の最高傑作！
魅力的な出演陣、石丸さち子の演出で再び新たに上演！

古代ギリシャの三大悲劇詩人の一人ソポクレスが紀元前427年頃に執筆した『オイディプス王』。世界最高峰と称されるギリシャ悲劇で、実は解りやすく求心力の強い作劇、ミステリアスな展開は眼も耳も捉えて離さず、人生の不条理を魅力的にドラマティックに描いた大作です。この『オイディプス王』は、2023年にパルテノン多摩のリニューアルオープン1周年記念として、石丸さち子の演出で上演。本作に渦巻く人間の不条理、根底で交錯する深い愛情と愛憎、叙情的な台詞と衝撃の展開が連続する世界観を、悲劇でありながら圧倒的な感動作として創り上げ大好評を博しました。約1年半ぶりに厳密な演出と出演陣の渾身の表現によって甦るギリシャ悲劇の最高峰にご期待ください。



撮影：永石 勝

■会場／Skyシアター MBS ■開演／12:30、17:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥11,500 U-25チケット¥5,000
■チケット取扱い／下記③⑥⑦⑧⑨
■Pコード／529-629 ■Lコード／53219
※未就学児入場不可 ※U-25チケットは当日引換券、要証明書、枚数限定
※車いすスペースをご利用のお客様は、スペースに限りがございますので
チケットご購入後お早めに劇場へご連絡ください

住友生命いずみホール

TEL.06-6944-1188 《チケット購入・お問合せ https://www.izumihall.jp 《チケット購入OK

4/2 WEDNESDAY クリスティアン・ベザイデンホウト＆フライブルク・バロック・オーケストラ

チケット発売中

◎曲目／モーツァルト:ピアノ協奏曲 第9番 変ホ長調「ジュノム」、ピアノ協奏曲 第17番 ト長調 ハイドン:交響曲 第74番 変ホ長調 ほか





フォルテピアノ界のトップランナー、クリスティアン・ベザイデンホウトとピリオド楽器オーケストラの最前線をリードする名門フライブルク・バロック・オーケストラの夢の共演！モーツァルトが二人の女性に捧げた2大ピアノ協奏曲を中心に、モーツァルトの音楽が生まれる背景となった音楽家ハイドンやJ.C.バッハの作品をお贈りします。音楽の愉悦が詰まった18世紀音楽にご期待ください。

■会場／住友生命いずみホール ■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定 S¥9,000 A¥7,000 U-30¥3,500
■チケット取扱い／下記①⑥⑦⑩ ■Pコード／294-021 ■Lコード／54376
※未就学児入場不可 ※U-30は小学生～30歳以下（限定数、オンラインのみ取扱）

4/5 SATURDAY 住友生命いずみホール オープンハウス 2025

入場無料





1990年に開館いたしました住友生命いずみホールは、4月に35周年の記念日を迎えます！今年も「ホールを知る」「ホールを楽しむ」をテーマに、オープンハウスを開催いたします。普段あまり見ることができないバックヤードや所蔵楽器を見学したり、楽器の解説を交えたミニコンサートをお愉しみいただけます。ホールに親しみを感じ、クラシック音楽の楽しさを体感していただけるイベントです。

ミニコンサート

※ご予約不要・自由席（各回定員800名）
◎11:30～12:30／中野振一郎（チェンバロ）
◎14:30～15:30／片桐聖子（パイプオルガン）

■会場／住友生命いずみホール
■時間／11:00～17:00（最終入場16:30） ■料金／無料
※入場者数が座席定員数に達した際、ホール内でミニコンサートをご鑑賞いただけない場合がございます。何卒ご了承ください

箕面市立文化芸能劇場

TEL.072-726-3000 《お問合せ https://minoh-geino.jp

5/10 SATURDAY 世良公則アコースティックソロライブ2025 ～迸る（hotobashiru）～ 生きるチカラが此処にある

3/8（土）～チケット発売

◎出演／世良公則

世代を超えたファンを魅了しつづける世良公則。セクシーな歌声と迫力あるギターが生きるチカラとなるソロライブが、ついに箕面市立文化芸能劇場に降臨！ライブならではの迸る魅力をお見逃しなく。

◎箕面市立文化芸能劇場
WEB先行販売（抽選）
https://www.funity.jp/tickets/minoogg/showlist
■期間／2月22日（土）10:00～2月26日（木）23:59
■先行販売分チケット料金（税込）／¥6,500



■会場／箕面市立文化芸能劇場 大ホール
■開演／16:00
■料金（税込）／全席指定 ¥7,000
■チケット取扱い／下記⑤⑥⑦⑧⑨
■Pコード／292-290
■Lコード／52174
※未就学児入場不可

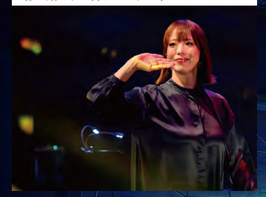
チケット取扱い ①茨木市文化振興財団 ☎072-625-3055 https://www.ibabun.jp/ ②フェスティバルホール チケットセンター ☎06-6231-2221（10:00～18:00） https://www.festivalhall.jp/（要事前登録） ③SkyシアターMBS［ミルテ］オンラインチケット https://eplus.jp/milude/
④住友生命いずみホール チケットセンター ☎06-6944-1188（10:30～17:00 日・祝日休業） https://www.izumihall.jp/ticket/ ⑤箕面市立文化芸能劇場チケットセンター ☎072-737-4343（10:00～17:00）
⑥チケットぴあ https://t.pia.jp ⑦ローソンチケット https://l-tike.com ⑧イープラス https://eplus.jp ⑨CNプレイガイド ☎0570-08-9999 https://www.cnplayguide.com/ ⑩セブンチケット https://7ticket.jp ⑪ファミリーマート

ビルボードライブ大阪 公演情報

www.billboard-live.com

OSAKA billboard LIVE

春の始まりを告げるような華やかなステージ

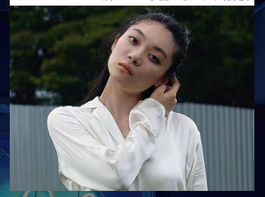


古内東子

Toko Furuuchi
Billboard Live Tour 2025
～Happy Blooming～

3.5 Wed
SA：¥8,000～ / CA：¥7,500
[1st] 開場16:30 開演17:30
[2nd] 開場19:30 開演20:30

シンガーとしても類まれな才能を放つ人気俳優

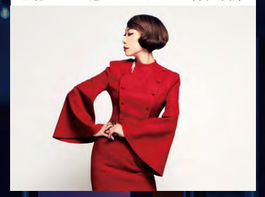


三浦透子

at Billboard Live
Tour 2025

3.6 Thu
SA：¥7,900～ / CA：¥7,400
[1st] 開場16:30 開演17:30
[2nd] 開場19:30 開演20:30

立花ハジメも迎えトンガリキッズ時代へ回帰



野宮真貴

Birthday Live 2025
～ニュー・ウェイヴを歌う～

3.14 Fri
SA：¥8,600～ / CA：¥8,100
[1st] 開場16:30 開演17:30
[2nd] 開場19:30 開演20:30

バンド・セットで35年の歴史をプレイバック



真心ブラザーズ

ROMANCE DANCE

3.21 Fri
SA：¥8,500～ / CA：¥8,500
[1st] 開場17:00 開演18:00
[2nd] 開場20:00 開演21:00

日本の音楽シーンで長年活躍し続ける重鎮

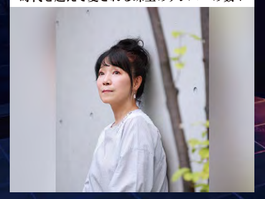


亀井登志夫

アルバム「地球の蜜」
リリースパーティー

4.6 Sun
SA：¥10,000～ / CA：¥9,500
[1st] 開場14:00 開演15:00
[2nd] 開場17:00 開演18:00

時代を超えて愛される珠玉のナンバーの数々



尾崎亜美

CONCERT 2025

4.7 Mon
SA：¥8,600～ / CA：¥8,100
[1st] 開場16:30 開演17:30
[2nd] 開場19:30 開演20:30
〈チケット一般販売〉2.18(火)12:00～

2人の才能が織りなす、目が離せないステージ



Billboard Live presents
Piano Duo Session in OSAKA

柴田淳 × 武部聡志

4.8 Tue
SA：¥8,900～ / CA：¥8,400
[1st] 開場16:30 開演17:30
[2nd] 開場19:30 開演20:30

UK発プログレッシブ・ロック・レジェンド



ASIA

Heat of the Moment
JAPAN Tour 2025

4.15 Tue & **16** Wed
SA：¥15,000～ / CA：¥14,500
[1st] 開場16:30 開演17:30
[2nd] 開場19:30 開演20:30

SA：サービスエリア（スタッフサービス付きでお料理をお楽しみいただけるレストラン形式の席） / CA：カジュアルエリア（1ドリンク付きのカウンター席） ※表示価格は税込です。

ビルボードライブ大阪の**最新鋭スピーカーシステム**を
いち早く体感する**入場無料イベント**が
スペシャルゲストを迎えて**3/12(水)**に開催！

\ Check /

◀ EVENT INFORMATION

※本公演は入場無料（飲食代別料金）・全席スタンディング・出入り自由となります。
※ご予約無しでもご来場いただけますが、イベント当日の混雑状況により入場制限を行う場合もございます。
※事前にご予約いただくと、当日使える1drinkチケットをプレゼント（予定枚数に達し次第終了）。


亀田誠治


野崎良太


Chaki Zulu

公演詳細・最新情報などは公式HPをチェック！

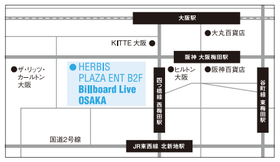
チケットのご購入はWEBから

www.billboard-live.com ビルボードライブ大阪

@Billboardlive_o @BillboardLiveOSAKA @Billboardlive_osaka



〒530-0001
大阪市北区梅田2-2-22 ハービスPLAZA ENT B2



Official Sponsors Asahi Glico Daiwa House

SPECIAL INTERVIEW 01 Mansai Nomura × Yuki Nomura

野村萬斎×野村裕基

2年に1度開催の「祝祭大狂言会2025」、野村萬斎・裕基がその魅力を語る

フェスティバルホールの春を彩る公演として定着し、今年で7回目となる「祝祭大狂言会」。2700席ある大空間で照明・音響を駆使した演出という、普段とはまた異なる視点での野村万作、萬斎、そして裕基の三代による狂言を楽しめる会としても親しまれています。冒頭には萬斎による分かりやすい解説もあり、初心者でも楽しめると好評です。

――まず、「見物左衛門（けんぶつざえもん）花見」について教えてください。

萬斎:フェスティバルホールというクラシックの殿堂ともいえるこの大きなホールで狂言をやるということで、毎回、工夫やトライアルを考えながら選曲をしております。私の解説の後に最初にご覧いただく「見物左衛門 花見」は、数ある狂言の演目の中でも野村家にのみ伝わる曲で、なおかつ一人で演じるという大変珍しい狂言です。それを今年94歳にもなろうという父の万作が、あえてこの大きなフェスティバルホールでやると。「花見」は舞いや謡いが散りばめられた非常に風情のある曲です。素手の芸である我々の真骨頂をご覧いただけるのではないかと思います。

――「法螺侍（ほらざむらい）」はどんな作品でしょうか。こちらは萬斎さん、裕基さんらがご出演されますね。

萬斎:1991年にイギリスで行われた「ジャパンフェスティバル」に出品したのが最初で、シェイクスピアの「ウィンザーの陽気な女房たち」が原作になっています。これはシェイクスピアの学者である高橋康也先生が書き下ろしてくださいました。原作に登場するフォールスタフというキャラクターが、「法螺侍」では洞田助右衛門という名前で出てきます。91年の初演では父が洞田助右衛門をやって、私がその召使である太郎冠者をやりましたけれども、今回は私が洞田助右衛門を、裕基が太郎冠者を演じます。大阪では、キャストが若返ってリニューアルした「法螺侍」は初めて上演します。

――裕基さんは「法螺侍」で何か印象的なことはありますか？

裕基:東京の国立能楽堂で祖父が洞田助右衛門を、父が太郎冠者をやった時に観たことがあるのですが、祖父が「笑うが人生、笑わるるも人生、人間所詮、道化に過ぎぬわい。この世はすべて狂言じゃ」というセリフを言ったんですね。芸歴90年を超える祖父が言うからこそ、ものすごく説得力を感じました。

――萬斎さんがお一人でなさる「MANSAIボレロ」について教えてください。

萬斎:繰り返しが多いラヴェルの「ボレロ」と「三番叟」が似ているということに着想してできた作品で、東北の震災をきっかけに作りました。こちらも一人舞台で、死からの再生を謳い、春夏秋冬に一人の人生をなぞるというような、複合的な意味を盛り込んでいます。ただ、舞踊だけですと抽象的にしか見えないので、季節感など何か具体的に示せるよう考えたいと思っています。

――裕基さん、狂言を通してお客様に一番伝えたいことは何でしょうか？

裕基:「無駄な一日とは、笑いのなかった日のことである」とチャールズ・チャップリンが言ったようですが、狂言は人々に笑いや幸せを届けられる古典芸能です。しかも昔から続いてきました。そういうものが日本に残っていることを若い人に知っていただきたいと思います。今、悩める若者も多いのかなと思いますが、そういう中でも笑いや幸せを感じていただける魅力が狂言にはあるので、ぜひ見に来てほしいと思います。

◎Interview&Text／岩本和子

4/26SATURDAY【チケット発売中】
「祝祭大狂言会2025」
■会場／フェスティバルホール ■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定 SV9,000 AV7,000 BV5,000
バルコニーBOX席（2席セット）¥18,000
■お問合せ／フェスティバルホール TEL.06-6231-2221



SPECIAL INTERVIEW 02 桐竹勘十郎 Kanjuro kiritake

“血”を巡る二つの人間模様を描いた名作を人形浄瑠璃文楽で！

開館5周年を迎えたフェニーチェ堺において当初から力を入れて開催されているのが文楽。今年は“魂と血”をテーマに一部、二部と違う演目で上演される。今回の演目について人間国宝・桐竹勘十郎に話を聞いた。

――公演される3月1日は奇しくも勘十郎さんの誕生日ですね。

別に誕生日だからと言うて、この日を選んだわけではないのですが（笑）。とはいえ、僕にとっては忘れられない日になりそうです（笑）。

――確かに（笑）。これまで過去2回、THEフェニーチェ文楽「火群～HOMURA～」というタイトルで公演をされて、さて第3弾は？と思っていたところ今回はタイトルをガラリと変えての公演となりますね。

一昨年は「情念の女」、昨年は「怒る女」をテーマにしてそれぞれやって非常に面白かったんです。とはいえ、次にまた「炎」で関連性を持たせるものを考えるなら、違うテーマの外題でやらせていただきたいなと思いまして、浮かんだのが今回の“魂”であり、“血”なんです。昔の人にとったら“血”というものは人間関係にとって、大きな力の持つものです。「血の繋がり」や「血が絶える」、「血筋」とかという言葉があるように、家族や一族にとって重要なものです。それをテーマにふたつの外題を今回やったら面白いかなと思い、選ばせていただきました。

――まず第一部では「摂州合邦辻」合邦庵室の段を演じられます。

僕はこの話に登場する玉手御前の役が大好きで。それは師匠（三代目吉田簑助）が演じたものが素晴らしかったのが根底にあると思います。師匠の玉手御前で、左遷いも足遣いも演らせていただきながら、早く演ってみたいと思っていました。後に叶うのですけど、最初はそれは難しい役でした。

――息子・俊徳丸のことを好きになった玉手御前が、後が閉まれている両親の家に訪ねてきたことから凄まじいことが起こる段。

何回か演らせていただいていますが、いちばんよく言われるのが俊徳丸に対して、母親としてか、女としてか、どう接しているのかという部分。僕はどっちでもいいと思っています、ただいろんな気持ちを抱えて下手の幕からの最初の「出」で決まる、そこで半分以上決まってくるので、毎回気が引き締まります。それと最後は、立ち役の人形を扱う気持ちで激しくやるというのも意識しています。

――第二部の「嬶山姥」はしゃべりの場が見どころと言われています。

昔は遊女で今は恋文の代筆をしている八重桐さんが扉でこんなことがあった、あんなことがあったと話す場なのですけれど、実在の人物で、荻野八重桐と言う歌舞伎の女形さんから名付けたそうで、この人も長台詞が上手だったみたいです。本で見るとね、ほとんど八重桐さんの台詞です。それを太夫さんも一気に語るので難しいですけれど、その語りに合わせる人形遣いも同じくです。これも非常に面白い話でね、クライマックスはそんな八重桐さんがスーパーウーマンになってという（笑）。今回のテーマである魂の力、血の力というものが最も分かりやすく伝わるかと思いますので、楽しみにして観ていただきたいですね。

◎Interview&Text／仲谷暢之（アラスカ社）

3/1SATURDAY【チケット発売中】
THE フェニーチェ文楽
「魂（たま）がゆくえ ～預ける命 捧げる命～」
■会場／フェニーチェ堺 小ホール
■開演／第一部12:00 第二部15:00
■料金（税込）／全席指定 各部¥5,500
■お問合せ／フェニーチェ堺（堺市民芸術文化ホール） TEL.072-223-1000



SPECIAL INTERVIEW 03 笑福亭銀瓶 Shofukutei Ginpei

上方落語の五流派が一堂に会する恒例の落語会を笑福亭銀瓶がナビゲート！

上方落語の各一門から精鋭が集結する恒例の落語会。その歴史は優に20年を超えます。出演は桂南光、桂あやめ、笑福亭銀瓶、桂春蝶、林家染吉、そして東京から蝶花楼桃花がゲストで登場。1988年3月に笑福亭鶴瓶に入門し、今年で芸歴37年。2017年には文化庁芸術祭優秀賞を受賞した実力派の銀瓶にこの会の魅力を聞きました。

◎Interview&Text／岩本和子 ◎Photo／佐藤浩

――「上方落語五流派競演会」のご出演は3回目ですが、この会は銀瓶さんにとってどういった位置づけですか？

たくさんいる笑福亭の中から選んでもらったことが非常に光栄です。毎回、一門を印象づける方が出演する五流派の競演会はこの会ぐらいなので、非常に面白く、意義深い試みだと思いますね。

――今回もバラエティに富んだ顔ぶれですね。

私も客席で聴きたいぐらいです（笑）。林家染吉さんは非常に明るいキャラクターで、林家らしい華やかな空気も持ってはるのでトップバッターにはうってつけ、いいスタートが切れますよね。二つ目に桂春蝶さんというのも、この会の豪華さを物語っています。4番バッターが2番で出るようなものですから。春蝶さんは古典落語と実話を元にした自作の新作落語をされている二刀流です。中トリの桂あやめさんは女性落語家を代表する一人です。あやめさん目線で創作した落語を聞けば現代がわかります。でも非常に普遍的なので男性が聞いても共感できると思います。中入り後は私です。軽やかに休憩後のスタートができたらと思います。続く蝶花楼桃花さんは実力のある方なので、桂南光師匠につながる華やかな舞台にしてくれはず。そしてトリの南光師匠は私が解説するまでもなく上方落語屈指の重鎮でございます。きっと桃花さんの後に出るということで喜んではることでしょう（笑）。この頃は梅雨に入っているかわからないけど、梅雨空を吹き飛ばすぐらいの、ヒマワリが咲いているような賑やかな会になると思います。

――銀瓶さんについてもお聞きします。2025年はどんな1年にしたいですか。

今年はどうしようかなぁ。新しい噺にも着手したいと思います。あと、歌が好きなのですが、久しく歌のライブをやっていないのでまた歌ってみようかなと思います。春の訪れとともにエンジンをかけて走っていこうと思います。

――銀瓶さんは2021年4月に自叙伝「師弟～笑福亭鶴瓶からもらった言葉～」を出版されました。鶴瓶師匠のお言葉はこの御本を読んでもらって、読先輩方からの印象に残るお言葉はありますか？

ずいぶん前ですが、南光師匠に「ええ噺家になってきたな」と言ってもらえて、すごく嬉しかったですね。多分、師匠は忘れてはると思いますが（笑）。あとは、20年以上前になりますが、たまたま桂ざこば師匠のお家に呼ばれてお酒を飲んだことがありました。その時、私たち若手に「ネタに感謝せえよ」とおっしゃったんですね。「わしらはネタのおかげで飯が食えてんねん。ええ加減なやり方したらネタに失礼や。失礼のないようにちゃんと稽古して、ええ高座して、ネタに感謝せえ」と。それは私も本当にそうだなと感じました。

――すごく愛のあるお言葉ですね。

自分の弟子と同じ感覚で言ってくださった「ネタに感謝せえ」というざこば師匠の言葉も忘れられないですね。古典落語は落語家みんなの共有財産なので、大切にしたいと思います。

6/8SUNDAY【2/26(水)～チケット発売】
「上方落語五流派競演会 Vol.19」
■会場／茨木クリエイトセンター センターホール
■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 1階席¥4,000 2階席¥3,500
■お問合せ／茨木市文化振興財団 TEL.072-625-3055



SPECIAL INTERVIEW 04 太鼓芸能集団「鼓童」Kodo 鶴見龍馬 Ryoma Tsurumi

最終的には鼓童の太鼓の音を浴びたな、と感じてもらえるステージを

日本が世界に誇る太鼓芸能集団として、佐渡島を拠点にワールドワイドな活躍を続ける鼓童。今年で3回目を迎えるビルボードライブ大阪での公演について、今回の演出を担当するメンバーの鶴見龍馬に通常のホール公演とは異なる特性や見どころ、また近年の鼓童の活動について語ってもらった。

――ビルボードライブ大阪での公演は、23年が初で今年が3回目となりますが、鼓童にとってロケーションとしてはいかがですか？

やっぱり、僕らが普段公演しているような大きな劇場とは、お客さんとの距離感があまりにも違うところがありますね。特に、ステージの最前端と一列目のお客さんが同じくらいの位置で、この距離感でどこまで僕らの太鼓の音がデカく出せるかなっていう点からチャレンジングで、稽古の段階からいろいろ試しました。初回の公演は僕もメンバーとして参加したので、現場に入ってからもリハーサルでさらに探りながら、どういう演目、曲順、音量感でいくかを相当考えた記憶があります。

――通常のツアーとはかなり違うスタンスで臨んでいるんですね。

そうですね。特に最初の2年間は、ビルボードという会場の特性に寄せた演出を考えていたと思います。群での太鼓はなるべく少なめで、笛の演奏や踊り、歌を主軸にしながら、その中にどう太鼓の演目を入れていくかというやり方をしていたかなと。そういったメロディ系の音楽は、普段だと太鼓がドカンドカンと鳴る中での場を変えるために機能するのが、ビルボードでは関係性が逆になってくるので、僕らとしては新しいチャレンジができる場でもあるなと感じています。

――最近の鼓童の動きとしては、新しくレコーディングされた音源を次々と発表しているのが特徴的だと思いますが。

コロナ禍で劇場での公演が長期間できなくなった時に、メンバーそれぞれがマイクや機材の使い方を勉強して、自分たちでレコーディングしたものを音源化できるシステムを作ったんですよ。鼓童の楽曲って今までコンスタントに音源化できていなくて、何かの節目の時に専門のスタッフに入ってもらってまとめて録音することが多かったんですが、今は年1枚ペースでその年にやった演目から「鼓童損集」というミニアルバムを出したり、普段の舞台ではできないようなピアノやギターを入れたアレンジの曲を収録したアルバムを制作したりして、いろんなことをやっています。

――今回のビルボードライブでの公演は。鶴見さんが初めて演出を担当されるということで、どのようなステージにしたいと考えていますか？

歌モノや笛モノをしっとりと聴かせる要素が多めに構成されてきたこれまでの流れを引き継ぎつつも、もうちょっと僕らの太鼓アンサンブルをガツンと聴かせられる内容にできないかなと考えています。ただ、やり過ぎてしまうとそれでお腹いっぱいになってしまうので、どこにどうその要素を持ってくるかが悩みどころですけど、最終的には鼓童の太鼓の音を浴びたな、と感じてもらえるステージをお届けできたらいいなと思っています。前々からリクエストもあった、背面で打つ大太鼓も入れようと考えていて、ビルボードのような近い距離感でその演目を味わうのは他の会場ではできないことなので、是非その振動を体感しにきてもらいたいですね。

◎Interview&Text／吉本秀純



3/27THURSDAY【チケット発売中】
「鼓童」
■会場／ビルボードライブ大阪
■開演／1stステージ17:30 2ndステージ20:30
■料金（税込）／BOXシート¥19,300（ペア販売）
S指定席¥9,100 R指定席¥8,000
カジュアル¥7,500（1ドリンク付）
■お問合せ／ビルボードライブ大阪 TEL.06-6342-7722

小山実稚恵のピアニズム

2025年のテーマ「永遠の命」

4/26(土)14:00
住友生命いずみホール
S席¥6,000
プレミアムS席¥6,500
A席¥5,500

(PROGRAM)
ベートーヴェン:
ピアノ・ソナタ
第30番 ホ長調
第31番 変イ長調
第32番 ハ短調
デビュー40周年記念
ベートーヴェン
「最後の3大ソナタ」を一挙に

5/11(日)14:00
あいおいニッセイ同和損保
ザ・フェニックスホール
全席指定¥5,000

「ピアノとイタマール・ゴラン」

<使用楽器>
1702年製
ストラディヴァリウス
「ロード・ニューランズ」
(日本音楽財団より貸与)

大谷康子
ヴァイオリンリサイタル
大谷康子デビュー50周年記念

PROGRAM
ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト長調「雨の歌」
第2番 イ長調
クララ・シューマン:3つのロマンス
ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ニ短調

SHIN ONGAKU 新音楽
大阪新音 TEL06-6926-4888
(11:00~17:00 土日祝および第1・第3月曜日休業)
〒530-0047大阪市北区西天満4-6-14 イーデザインビル201 https://www.osaka-shinon.com/

絶賛発売中!!

尾崎未空&小林海都
ピアノデュオリサイタル

2025年3月1日(土)
14:00開演(13:30開場)
アンサンブルホール ムラタ
(京都コンサートホール小ホール)

4000円(全席指定)

巨匠ビリスの愛弟子

心を揺さぶる繊細かつ情熱的な音色で世界中を魅了!

©Tsutomo Yagishita
©D. König

プログラム
ミヨー スカラムーシュ
モーツァルト 2台ピアノのためのソナタ ニ長調 K448
ショパン スケルツォ第2番 変ロ短調 Op.31(小林)
スクリャービン ワルツ 変イ長調 Op.38(尾崎)
他

お申込・お問合せ tel 075-353-7202
京都 (旧称・京都労音) ミューズ

春だ!笑いだ!
昭和100年!
松竹新喜劇
陽春公演
松竹創業百二十周年

今年は昭和百年!
なつかしい昭和のお芝居二選をお楽しみください!
映画「後タイムスリーパー」の記憶無用!介護ギャグ炸裂話題

二人生双六
二階の奥さん

出演:
曾我廼家蝶太郎 曾我廼家一蔵 藤山扇治郎 曾我廼家いろは
江口直彌 川畑泰史 曾我廼家寛太郎 曾我廼家大志
甲斐正法 藤田功次郎 戸田ルナ 山本喜楽 泉しずか ゆめゆかり 関口義郎 千葉由香
坂口勝紀 森光冬 山田優 能勢優菜 山川大滋 河合祥子 千草明日期 前田絵美

4月19日(土)~27日(日) 休演日:23日(水) 開演時間:11時/15時
3月7日(金)午前10時より 電話・Web 受付開始!
【窓口販売・切符のお引取りは3月9日(日)より】窓口販売用別枠でのお取置きはございません。

春だ!笑いだ!松竹新喜劇 陽春公演
今年は昭和百年! ゲストに、映画「侍タイムスリッパー」での好演も話題の田村トムを迎えて贈る、なつかしい昭和のお芝居二題にご期待ください。

演目総選挙で堂々第一位!
松竹新喜劇を代表する名作!

『人生双六』
宇田信吉は、職を求めて大阪に出てきたものの、職先は倒産、所持金も尽き、路頭に迷っていました。あてもなく夜の町をさまよっていると、同じく失業中の浜本啓一と出会います。本はなけなしの大金を拾い、生活の苦しさからその金を自分のものにしようとしていたのですが、実直で純粋な宇田の人柄に感銘を受け、拾った大金を落とし主に返す決意をします。二人の間には自然と友情が生まれ、五年後、この場所での再会を誓い合います。そして五年の時が流れ、約束の日がやってきたのですが…。

『二階の奥さん』
息子の嫁より若い妻と再婚した小山百平さんは、遼方に住む息子にそれを告げられずにいました。ところがある日突然、何も知らない息子夫婦が帰ってくることになった!?大慌て! とっさに新妻を二階の部屋を貸している坂野の妻だと紹介してその場をごまかそうとしますが、タイミングの悪いことに本物の〝二階の奥さん〟が帰って来て…。

嘘は喜劇の始まり!?
松竹新喜劇屈指の爆笑喜劇!


過去公演写真より


過去公演写真より

大阪松竹座
チケットホン松竹(10:00~17:00) 0570-000-489 または06-6530-0333
チケットWeb松竹(24時間受付) チケットWeb松竹
ご観劇料(税込) 1等席 11,000円 2等席 5,000円 3等席 3,000円
〒542-0071 大阪市中央区道頓堀1-9-19 お問い合わせは ☎06-6214-2211
●チケットぴあ [Pコード 532-138] w.pia.jp/t/shochikuza/ ●イープラス eplus.jp/shochikuza/
●ローソンチケット [Lコード 54223] l-tike.com/shochikuza/
松竹ホームページ www.shochiku.co.jp /前売券取扱所:大阪松竹座・南座・歌舞伎座・新橋演舞場/団体のお申し込み・お問い合わせは 06-6214-2211(販売営業)まで

第3回 関西えんげき大賞が2月20日に決定します!

関西の演劇を盛り上げるために設立された「関西えんげき大賞」と「関西えんげきサイト」。2024年の特に優れた舞台を表彰する「第3回関西えんげき大賞」の授賞式が2月20日に行われます。呼びかけ人として第一回から関わっておられるラジオパーソナリティの加美幸伸さん。その意義と大賞の裏側を語っていただきました。

関西えんげき大賞 関西えんげきサイト
https://k-engeki.net/



加美幸伸(かみ・ゆきの,ぶ)
DOVES L.L.C.代表 FM COCOLO/J-WAVE DJ
大阪市出身。ラジオDJとしてのキャリアは約30年。異時すべ劇的パフォーマンス集団「ScatRaw」の座長として、自身も「加美ラジオ」として朗読、芝居、トークショウなど自主企画をプロデュース。「関西えんげき大賞」呼びかけ人、選考委員として参画。

「関西えんげき大賞」は
演劇賞の中でも独自の存在。

関西えんげきサイトのオープニと並行して創設され、この2月20日に3回目の発表を迎えます。関西発の演劇公演や劇団に贈られる作品そのものを主評価した賞となっています。一年間に行われた演劇公演から選ばれた優秀作品や作品を対する公表し、選考委員に加えて投票委員と、一般の観客投票者の得票数で「最優秀作品賞」と「観客ベストワン賞」が決まります。今回からは、これから主担う若手アーティストにネクストドア賞も設けられました。

「関西えんげきサイト」は、
関西の演劇情報に特化したウェブサイト。

2022年、コロナ禍のまっただ中で演劇をはじめとしたエンターテインメントが瀕死にあえいでいました。そこで関西の演劇評論家、研究者、教育関係者たち有志が軸となって関西の小劇場や商校演劇の情報を含めた情報交流サイトが立ち上がりました。

加美 限られたスケジュールの中で、どれを観に行けばいいのか迷うことが多いですよね。関沢という宣伝費のある興行にはすさにアクセスできるが、小劇場や中心とした秀作に巡り合うことが難しい時代になってきています。そんな中、関西えんげきサイトに出公演スケジュールはもちろんのこと、劇評やインタビューなど硬派な記事も掲載されています。そういった広がりから、演者にとって観られる情報媒体になっていきたいですし、大手を含めた既存メディアにとっても有益な情報源としても機能し続けていきたいですね。そんな想いを若手にバトンタッチした。今はその地ならしだと思います。

2月20日、第3回関西えんげき大賞発表!

一年間の演劇公演の中から選考委員により選出された優秀作品賞や作品、その中から投票委員(新聞記者、演劇評論家、研究者など)一般観客投票者からの結果を受けて、「最優秀作品賞」と「観客ベストワン賞」が発表されます。発表イベントでは多くの演劇関係者が集い、和気藹々とした雰囲気の中での授賞式となります。この模様はYoutubeでライブ配信もされます。

加美 授賞式は、毎年控とよい緊張感があって独特ですね。他の演劇祭の可会もやりますが、関西えんげき大賞はちょっとアセのある演劇人の演劇人のための賞というところが好きですね。選考委員や投票委員と演劇界のプロの方が多いのもあって、そこで選ばれた賞という特別感は受賞者にはあると感じます。この賞が、純粋なプロフェッショナルな演劇人への突破口としてのステップにたればと思っています。かつて関西小劇場が盛り上がっていた時代の雰囲気を、この サイトや賞をきっかけにまた創っていけると最高だと思います。

授賞式は2月20日18:30~ Youtubeで同時配信します

今後の注目公演

劇団タルオルム
旗揚げ20周年企画第1弾
マダン劇「4・24の風」



<公演データ>
劇団タルオルム 旗揚げ20周年企画 第1弾
マダン劇 4(サ)・24(イサ)の風
作 金蒼生 金民樹
演出 金民樹

・CAST
卞怜奈 姜河那 趙清香 趙沙良 大橋逸生

・日時 2025年4月19日(土)13時/17時 4月20日(日)14時
※19日13時の回は、朝鮮学校の学生無料ご招待のため、一般限定40席とさせていただきます。

・場所 大阪朝鮮初級学校(大阪市生野区舞路3-14-16)
受付は開演の45分前、開場は30分前
専用駐車場はございません。お車でお越しの際は、近隣のパーキングをご利用下さい。

・チケット 一般:3000円(当日3500円)
学生:2000円(当日2500円)

SPECIAL INTERVIEW 05

大谷康子 Yasuko Ohtani

大好きなブラームスを、大好きなピアニストと共に

テレビでも人気の大谷康子がデビュー50周年の全国ツアーに選んだのは、ブラームスの「ヴァイオリン・ソナタ」。深い内容の極上のブラームスを、名手イタマール・ゴランと共に全国へと届けて廻る。多忙を極める大谷康子が、最高の笑顔で語ってくれた。

―― サントリーホールの「デビュー50周年記念特別公演」は、大変盛り上がったようですね。

楽しい名曲コンサートとは違い、50年にわたる活動の信念を集約し、今の世界情勢の中で私たちが音楽の力でできることは何かを、皆さんにお示しをするコンサートでした。ラヴェルの「ツィガーヌ」、ショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲第8番「ファシズムと戦争の犠牲者の思い出に捧げる」、R.シュトラウス「メタモルフォーゼン」と、前半はあえて、重く厳しい内容の曲を並べました。逆に後半は、クレンゲルの「讃歌」(ヴァイオリン版)から、萩森英明作曲「ヴァイオリン協奏曲『未来への讃歌』~ヴァイオリンと世界民族楽器のための~」へと、希望溢れる輝かしい曲を続けました。前半から後半に向けて、"音楽の力"を皆で確認することができたと思います。

―― ブラームスのソナタを中心としたリサイタル・ツアーが5月より始まります。

6年ぶりにピアノの名手イタマール・ゴランさんと全国14回公演で廻ります。大阪はあいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールで、ブラームスのソナタ全3曲と、クララ・シューマンの「3つのロマンス」というプログラムです。日本音楽財団が私の50周年に貸与してくださった1702年製のストラディヴァリウス「ロード・ニューランズ」で演奏します。

―― さすがに50周年だけあって、音楽専門誌の表紙を始め、さまざまな媒体の目立つところに大谷さんの笑顔が並んでいます。

先日、スポーツ新聞にも取材をしていただきました。掲載紙を拝見すると、「音楽界でも大谷に注目!」といった感じの記事で(笑)。同じ苗字だけに、私も大谷翔平さんの活躍を嬉しく感じていました。

―― なるほど。しかし、大谷さんは二刀流ところか、いったい何刀流になりますか?ソリストに加え、コンサートマスター、大学教授、文化大使、文筆家、テレビの司会者など(笑)。いつも笑顔でお元気ですね。

私は本当にヴァイオリンを弾くのが大好きです。ヴァイオリンを手にするとニコニコしてしまいます。それと、人と話すのが好き。好きなことを沢山出来て、感謝しています。今でもソリストとしてオーケストラに呼んで頂く機会が多いのですが、それはコンサートマスターの経験も豊富だからだと思っています。例えばチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲は、ソロの部分を達者に上手く弾けてもダメなのです。チャイコフスキーはロシア音楽や交響曲をオーケストラで弾いて、特有のリズムや歌心が判っていないと彼の音楽にはなりません。ブラームスは凄いですよ。厳格な作曲技法の中に和声や構成の新鮮さ、また情熱的かつシャイな一面、品格を備えた美しいメロディなど、彼が生きていたら、絶対に友達になりたかった(笑)。

―― 最後にメッセージをお願いします。

ブラームスのソナタは3曲とも名曲中の名曲ですが、全て違います。私とゴランさんの演奏は、それぞれの曲が持つ魅力を、はっきり伝わるように表現するつもりです。クララ・シューマンとの交流も、音楽を通して分かっていただけるはず。ストラディヴァリウスの音色も味わってください。

□Interview&Text／磯島浩彰

5/11 SUNDAY【チケット発売中】
大谷康子デビュー50周年記念
「大谷康子&イタマール・ゴラン全国ツアー」
■会場／あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール
■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 ¥5,000
■お問合せ／大阪新音 TEL06-6926-4888


©Masashige Ozaita

REPORT

ミュージカル「ボニー&クライド」製作発表記者会見

伝説のギャング・カップル「ボニー&クライド」に実力派キャストが集結!



映画「俺たちに明日はない」で有名なアメリカの伝説的ギャング・カップル「ボニー&クライド」のミュージカル版。クライド役を神澤勇人と矢崎広、ボニー役を桜井玲香と海乃美月がそれぞれWキャストで演じる。1月の制作発表会にキャスト4人と演出家が登壇し、舞台への意気込みを語った。

会見の冒頭では、柿澤、矢崎、桜井、海乃の4人が劇中歌2曲を披露。数々のヒット作を手掛ける作曲家フランク・ワイルドホーンのジャジーでポップな楽曲をパワフルに歌い上げ、取材陣や50人の一般オーディエンスを沸かせた。

―― 皆さんの熱い歌声に会場が盛り上がりました。素晴らしかったです。

柿澤:フランクの作品にはいくつか出演しましたが、パワーが必要な楽曲ばかりで、相変わらず歌うのが正直しんどい(苦笑)。でもフランク的にはそれが正解だそうで、"抑えられない感情の高まり"を歌ったり踊ったりして表現するのがミュージカルの基本。今回もかなりエネルギー消費量の高い舞台になっています。

―― 大きな犯罪に突き進む、クライドの原動力は何でしょうか。

柿澤:一番大きな原動力は"怒り"の感情です。1930年代の世界恐慌下で、希望が見えない鬱屈した社会への反逆心が、彼を犯罪に向かわせたのではないかと思います。日々の暮らしの中でも「ふざけんな」と思うことはあるじゃないですか。僕は新年早々、家のトイレが詰まったり、パスポートを失くしたり、ふざけんなです。そんな?(笑)いろいろなフラストレーションを舞台にぶつけたいです。

矢崎:カッキー(柿澤)が言うように、クライドは過酷な時代を生きる中で、いつも自分の存在意義について自問自答していた人。「大物になってやる」という願望が、ボニーと出会ってさらに加速してしまったのだと思います。僕も16歳の時、山形から1つ上京して、役者を夢見てがむしゃらに進んできたので、クライドの"男のプライド"に共感できます。

―― クライドの運命を変える女性、ボニーをどのように捉えていますか。

桜井:ボニーは素直で真面目な女の子でありながら、セクシーでちょっと危険な要素もある多面的な女性。自然と周りの人を引き付けてしまう、不思議な魅力があります。

海乃:ボニーは詩を書くのが好きな一面もあり、想像力豊かな女性だったのではないかと思います。私も幼い頃から舞台に憧れる夢がちなところや、自分で決めたことは曲げない頑固なところがあるので、そこがボニーと似ているなと感じます。

―― 皆さんの会話から、カンパニーの和やかな空気が伝わります。

矢崎:すごく雰囲気の良い稽古場だよね。新しいシーンの稽古が始まる前には、キャスト同士で話し合う機会があるし。

海乃:私は宝塚歌劇団を退団して初めての舞台なので「緊張するだろうな」と思っていたのですが、想像以上にリラックスしていて、自分でも驚いています。

柿澤:玲香ちゃん(桜井)とは前にも共演したけど、いつもより笑顔が多い気がする。

桜井:え、ほんとに?稽古場でのコミュニケーションがしっかりできているから、自分らしさを出しやすいのかもしれないです。

―― ミュージカル版「ボニー&クライド」の魅力をおしえてください。

海乃:映画版では客観的な視点で描写している部分もありますが、ミュージカル版ではクライドとボニーが生きてきた過程を丁寧に描いています。なぜギャングになったのか、2人の人間的なところを見ていただきたいなと思います。

桜井:破滅的で悲しいストーリーではありますが、暴れ回る2人の姿は最高にカッコイイ。お客様にスカッとした気持ちになっていただける舞台です。

矢崎:ポップな曲もあれば素敵なバラードもあって、すごく"イケてる"作品になっている。「悪いやつらだったけど、なんか好きになっちゃった」と思っていただけるように頑張ります。

柿澤:実際に行われた2人の葬儀には、ボニーに3万人、クライドに1万5千人の民衆が集まったと言われています。悪党でありながら人々に愛された、アンチヒーローの魅力をぜひ劇場でお楽しみください。

□Interview&Text／北島あや

4/25 FRIDAY~30 WEDNESDAY【チケット発売中】
ミュージカル「ボニー&クライド」
■会場／森ノ宮ピロティホール ■開演／詳しくは公式HPをご確認ください
■料金(税込)／全席指定 一般¥14,000 U-25¥6,000
■お問合せ／キョードーインフォメーション TEL:0570-200-888(12:00~17:00土日祝休業)

SPECIAL INTERVIEW 07

三浦涼介 Ryosuke Miura

悲劇ではあるけれど、
1ミリでも希望を感じてもらえる
王になりたいと思います

古代ギリシャの三大悲劇詩人のひとり、ソポクレスが紀元前427年頃に執筆した戯曲「オイディプス王」を三浦涼介主演で1年半ぶりに再演。初演で見せた彼のオイディプス王という役柄を今回はどう深化させるのかを聞いた。

―― 2023年にタイトルロールを演じられてから約1年半という早いスパンでの再演ですが、前回を振り返ってみていかがでしたか?

20年近くこの仕事をやってきて初めてのギリシャ悲劇でしかも過去に様々な方がオイディプス王を演じてこられた凄い作品ですから、オファーをいただいた時は、はたして自分にできるだろうかと思いながら、試行錯誤していました。悲劇ですが、どこか1ミリでも希望を持って演じたいと演出の石丸さち子さんに話したところ「涼介なりのオイディプスを演じればいいよ」と言ってくださったので、僕なりに精一杯、演じました。ただ、初演の数年前に大切な人を亡くしたんです。その人がいなくなったことで、様々なことが自分の中で変わってしまいました。道しるべがなくなったというか…それなら時期がしばらく続いていた時にこの戯曲を読んで、どこかオイディプス王と自分の心情が重なってしまうような部分があって。それが先述した悲劇であるけれど、少しでも希望があるのだという風に解釈でき、自分自身も前に進めたのはとても大きかったです。

―― 改めて、今作と対峙していかがですか?

前回はとにかくセリフに追われ、精神的にも肉体的にもボロボロになりながら、しかも1ヶ月以上の稽古を経て、最後の通し稽古の途中でパニック状態になってしまい結局、石丸さんから「涼介、今日はもう止めよう」と判断になって中止になったのです。出演者やスタッフの皆さんの貴重な時間を奪ってしまって、迷惑をかけたこと、自分への不甲斐なさも含め悔しくて、涙が止まらなくてどうしようもなかった。それでもなんとか初日を迎えさせていただいたのですが、芝居というものをとから楽しむということができていなかったと今は思います。だからこそ、今回は舞台に立てることを楽しむことができて、お客様に作品や役の魅力をお届けできるように日々稽古で作り上げています。

―― オイディプスの母で後に妻となるイオカステ役の大空ゆうひさんは初演からの参加。彼女の弟・クレオンの岡本圭人さんは初参加ですね。

大空さんは、前回から姉のように、母のように常に支えてくださって。石丸さんが「二人は似ている。まず芝居で嘘がつけない」って。確かに二人とも少しでも稽古で台詞や動きなどで違和感があると、先に進めなくなってしまった経験があって。だから今回は一緒に乗り越えつつ、僕も大空さんを引っ張っていけるようにできたらと思います。岡本さんは昨年、「リーディングシアター GOTT 神」で共演させていただいたのですが、その時の前向きで真摯な姿を見て、年下ですけど自分にとって、すごく刺激を与えてくれる方です。他にもベテランの方々に助けてもらいながら、出演させていただくわけですが、自分にとって、最終的に胸を張って、僕は満足のいくオイディプス王を演じたと言いたいです!いや、きっと今回は言うと思います(笑)

◎Interview&Text／仲谷暢之(アラスカ社)

3/1 SATURDAY【チケット発売中】
「オイディプス王」
■会場／Sky シアターMBS
■開演／12:30、17:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥11,500 U-25チケット¥5,000
■お問合せ／Skyシアター MBS TEL.06-6676-8466(10:00~18:00)



冨田一樹 Kazuki Tomita

SPECIAL INTERVIEW 08


©樋川智昭

バッハ国際コンクールの覇者が奏でるバッハとメンデルスゾーン

バッハを起点に読み解くヨーロッパ・オルガン音楽の大潮流。新シリーズ「ヨーロッパ・オルガン音楽の伝統と継承を聴く」の第1回は、バッハを敬愛し、彼の作品の魅力を世に知らしめたメンデルスゾーンを取り上げる。オルガニスト冨田一樹に話を聞いた。

―― 住友生命いずみホールで2022年から開催した「バッハ・オルガン音楽の美学を巡る」では、バッハのオルガン作品を初期、中期、円熟期に分ける3回の演奏会で特集されました。あのシリーズ企画について、ご自身はどのような感想をお持ちですか。

J.S.バッハは時代によって音楽の作風が大きく変わる事は無かったと言われていますが、それは表面的な印象にすぎません。この企画は、J.S.バッハの成長の過程を3回の公演で表現し、美学の変遷をたどるシリーズでした。時代ごとに変化したバッハの音楽に対する哲学を、より明確化できたと感じております。しかしながら、3回の公演では紹介できなかった作品もあり、そういったオルガンの名曲を次のシリーズで取り上げたいと考えております。

―― 今回新たなシリーズ企画として「ヨーロッパ・オルガン音楽の伝統と継承を聴く」が始まります。その狙いを教えてください。

海外に住み、日本を見つめると、新たな文化や国民性を発見することがあります。一方、異国の地にあっても日本との共通性を見出すこともあるでしょう。今回の企画でも、同様の発見を期待しています。他の作曲家から見てJ.S.バッハはどのように映るのか、その違いと共通性を捉えることで、バッハのオルガン音楽の価値を再認識し、西洋音楽の歴史への理解を深める機会となるシリーズにしたいと考えています。

―― Vol.1ではバッハとメンデルスゾーンの作品が並んでいます。二人の作品について気付いた事などを教えてください。また、二人の作品を一緒に演奏することで明確になるポイントなどについてもお願いします。

二人の作品を観察すると、共に人間らしく熱しているイメージがあり、興味深く感じます。どちらも若い頃から音楽に精通し、オルガン曲を書いており、それらの作品には音楽の豊かな感情を純粋に伝える力があります。時代を超えた作曲家の「類が」を感じるという意味でも、今回両者を取り上げることは、本公演の大きな見どころとなるでしょう。ただ一つ残念なことは、バッハは40代、50代以降の作品では、特にその緻密な対位法や整然とした構成によって音楽の芸術性をさらに高めていったのに対し、メンデルスゾーンは38歳という若さで亡くなってしまったため、同じ年代での比較ができないことです。もしメンデルスゾーンが1800年代後半まで生き、オルガン作品を手がけていたならば、オルガン音楽の歴史が変わってしまうほどの名曲を生み出していたかも知れません。

―― ファンの皆様へメッセージをお願いします。

新シリーズの第1回目で取り上げるJ.S.バッハとF.メンデルスゾーンのオルガン作品は時に喜びが溢れ、時に深刻な表情で美しく情熱的なポリフォニーが繰り広げられます。きっと2人とも音楽を創造する幸福を胸に抱きながら筆を走らせていたことでしょう。メンデルスゾーンの作品に焦点を当てると、バッハの時代にはなかった形式や、メンデルスゾーンならではの個性を示した和声表現が見受けられ、共通する要素やバッハとの違いが味わえます。住友生命いずみホールが誇るケーニヒ社のパイプオルガンは関西で最も上品で洗練された音色を奏でる楽器です。驚かしい響きと繊細なパイプの調べで、二人のオルガン作品の持つ奥深い世界を伝えられるのであれば、オルガニストとしてこれ以上の喜びはありません。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

◎Interview&Text／磯島浩彰

3/21 FRIDAY【チケット発売中】
冨田一樹プロデュース
「ヨーロッパ・オルガン音楽の伝統と継承を聴く Vol.1 バッハとメンデルスゾーン」
■会場／住友生命いずみホール ■開演／19:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥4,000 U-30¥1,000
■お問合せ／住友生命いずみホールチケットセンター TEL.06-6944-1188(10:30~17:00 日曜・祝日は休業)

チケットぴあ Special Selection

チケットぴあは音楽、スポーツ、演劇など、あらゆる催し物のチケットを販売しております。
その中でも、今、ぴあがイチオシするエンタテインメントを厳選してピックアップ！
今号はミュージカル『イリュージョニスト』に出演の愛希れいかさんのインタビューをお届けします！

『イリュージョニスト』で愛希れいかが公爵令嬢役に

元宝塚歌劇団月組トップ娘役で、退団後は舞台や映像で活躍する愛希れいかが、ミュージカル『イリュージョニスト』に出演する。公演を前に取材会で思いを語った。同作は、天才幻影師のアイゼンハイム（海宝直人）と、幼いころ心を寄せ合った公爵令嬢のソフィ（愛希）が、19世紀末のハプスブルク帝国ウィーンで、時代に翻弄されながらも禁断の愛に進んでいく物語。

2021年に世界初演される予定だったが、コロナ禍のためコンサートバージョンで、また東京のみでの上演。今回、ついにフルバージョンで披露される。メインキャストにはソフィの婚約者の皇太子レオポルドに成河、アイゼンハイムを監視するウール警部に栗原英雄、興行主ジーガに濱田めぐみという実力派が揃う。「稽古場ではみんなで円になって、自分や相手のセリフ、そして細かい言葉のチョイスや言葉尻まで議論しています。本当に勉強になります」と刺激を受けている。

ソフィは、禁断の愛に突き進む人物。「意志と芯が強くて人間味がある。アイゼンハイムへの思いは執着といってもいいぐらいで、その愛の強さはすごいなと。そこが重要なポイントになってくるので、大切にしたいですね。一番ベースにあるのは愛で、それが彼女の原動力。でも、思っていることと行動が違ったりもするので、その辺りをうまくバランスを取って見せたいなと思います」。

華やかで凛とした佇まいから、公爵令嬢のオーラはすでにまとっているように見える。「ソフィにとっての正義は、ほかの人にとっては果たして正義なのかととても考えさせられます。それがたとえ、『ロミオ＆ジュリエット』みたいな純粋な愛だったとしても。演出家のトム・サザーランドさんと話しているのですが、彼女の一つひとつの行動は、その先に起こることを知った上でやっているのか、知らずに純粋な気持ちでやっているのか。もっと突き詰めていきたいです」と意欲に燃えている。アイゼンハイムがイリュージョンを使うと、舞台で一体何が起こるのか。劇場で確かめてほしい。



取材・文／米満ゆう子



ミュージカル『イリュージョニスト』

■4月8日(火)～20日(日)　■梅田芸術劇場メインホール
■〈平日〉S席-15000円　A席-10000円　B席-5500円
〈土日祝〉S席-16000円　A席-11000円　B席-6000円
【脚本】ピーター・ドゥシャン
【作詞・作曲】マイケル・ブルース
【原作】ヤーリ・フィルム・グループ制作映画『幻影師アイゼンハイム』
スティーヴン・ミルハウザー作『幻影師、アイゼンハイム』
【演出】トム・サザーランド
【出演】海宝直人　成河　愛希れいか
栗原英雄／濱田めぐみ　他　※未就学児童は入場不可。

4月	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
12:00					○	○						○	○
13:30		○	休演	☆			☆	☆	休演	○	○		
17:00					○	☆						○	
18:30	☆	○						○			☆		

☆＝イリュージョニスト×梅田芸術劇場20周年記念日替わりイベントあり
※上演時間は、約2時間20分前後予定(休憩含む)

チケットの購入はコチラ！

チケット発売中　※インターネットのみで販売。

～ぴあでチケットを購入するには？～

パソコン・スマートフォンで購入

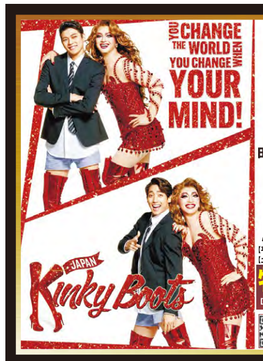
①公式サイト(t.pia.jp)かチケットぴあアプリにアクセスし、会員登録。登録料・年会費は無料。
②購入したい公演を検索し、ご希望の開催日程や枚数をお選びください。
③お支払いの手続き。クレジットカード、コンビニ支払い、電子マネーで支払い可能。
④チケットの引き取り。※引取方法はチケットをご購入の際にご確認ください。

セブン-イレブンで購入　店内の「マルチコピー機」で、画面に従ってご操作ください。

無料でダウンロード
スマートフォンをお持ちの方は、チケットぴあアプリがより早く、便利です。
AppStore　Google play



隔月発行！
演劇情報フリーマガジン
ステージぴあ 関西版
劇場カレンダーやインタビューなど盛りだくさんの内容をお届け！関西の各劇場で入手いただけます。



実力派俳優が集結し、待望の上演決定！
ブロードウェイミュージカル
キンキーブーツ
CHARLIE PRICE 東 啓介・有澤樟太郎　LOLA 甲斐翔真・松下優也
LAUREN 田村芽実・清水くるみ　NICOLA 熊谷彩春　DON 大山真志　GEORGE ひのあらた
HARVEY FIERSTEIN CYNDI LAUPER JERRY MITCHELL
5/26(月)～6/8(日) オリックス劇場
【平日夜】S席¥15,000/A席¥12,000/B席¥10,000/C席¥8,000/D席¥6,000
【土日祝・平日昼】S席¥16,000/A席¥12,500/B席¥10,500/C席¥8,500/D席¥6,500
特別受付！2/16(日)5:00～2/23(日・祝)23:59
(チケットぴあ) https://w.pia.jp/p/kinkyboots25megs/
※先着順　※お一人様4枚まで
日程・キャストスケジュールなど公演詳細は公式ホームページをチェック!!　※全席指定・税込　※未就学児入場不可



KYODO KANSAI GROUP Information　https://kyodo-osaka.co.jp/　【お問い合わせ】キョードーインフォメーション　0570-200-888（12:00 ～ 17:00・土日祝休み）

藤木大地の大冒険

#03 スーツケースの人生



20代の頃、こんな歌手になりたいと憧れた像がある。海外に住み、有名な劇場で歌い、日本には逆輸入の形でビジネスクラス&ホテル付きで招かれて歌う。実際にそう活動しているように見える先輩が何人かいて、留学中には日本人が活躍する公演全般を欧州各地に追いかけた。ハコ推し？と言うのか？そんな先輩のうちの一人の口癖が「うちら、スーツケースの人生ね」だった。そうね、今ならわかるかもね。平均して月の半分はスーツケースと旅をしている。年間100日くらいホテルに泊まっている。旅の準備にまず考えるのは「パンツの数」である。何泊目の宿に洗濯機があるか。その日洗ったパンツはいつまで足りるのか。そいつを緻密に計算しつつ、準備する下着の組数を決定するのである。それを月に2、3回はやっている。重量制限の厳しい（安い）航空会社に乗るときは、重さとの戦いである。ワインを守るために壊れた（でも直せる）靴を犠牲にしたこともある。ちょっと後悔している。この年末年始は、ヨーロッパにいた。ドイツ、フランス、イタリアにも滞在したけれど、特に感激したのは19年ぶりに訪れることができたポルトガルだった。当時、1年間のイタリア留学の最後に、どうしてもまだ海外に残りたくて劇場オーディションの旅をしていた。パリ・オペラ座の合唱団と、スイス・ベルン歌劇場のソロのオーディションのアポの間が1週間あいたので、持ち歩いていた分厚い「地球の歩き方 ヨーロッパ」のうちのほんの2ページの情報を頼りに、思い切ってリスボンに飛んだ。1泊1500円くらいの安宿を拠点に、お金がないことを足と時間でまかなって動いた。スマホは発明される前だし、デジカメも持ってなかったから写真はないものの、あの時の景色はずっと心に残っていて「これまで行った国でどこが良かった？」と訊かれたら、ポルトガル！とずっと答えていた。今、飛行機に預ける料金をケチって手持ち分に何もかも詰めていたスーツバッグ（結婚式のカタログギフト）はリモワのスーツケースになり、時間と安全をある程度はお金で解決するようになったけど、鮮烈な思い出は苦労や工夫をしたあとに残るものだとも思う。当時、道すがらのカフェで食べた一本の小さなイワシと、80円くらいのエスプレッソの味を超える経験はもうできないのかもしれない。パンツも靴下も、もし足りなくなったら旅先で買えるだろう。でもやっぱり、自分が家で詰めてきたものでやりくりしたい。スーツケースの中身は、自分の歩みそのものなのかもしれないね。
カウンターテナー歌手、藤木大地でした！
次号は表紙らしいYO！しらんけど。

一筆 KAZUTARO



#03「私と〝静御前〟」

2025年も、あっという間に1ヶ月が過ぎ行き…立春の季節に大阪での歌舞伎公演。今回のコラムでは2月にも実際に舞台で演じております。〝静御前〟という人物に注目をしてみたいと思います。源義経の愛妾（愛人・恋人）として歴史上名高き静御前。仙台市に石碑があったり、大和高田市に記念碑があったりと各地にスポットが現存するものの、未だ謎多き人物でもございます。有名な歴史書である「吾妻鏡」中の出来事もすべてが真実ではないという話もありますし、他に「義経記」、「平家物語」などにも登場し、面白いエピソードが散りばめられています。そんな中、私、中村壱太郎がイメージする歌舞伎の静御前は〝女武者〟と〝白拍子〟という2つの側面が大きな鍵になると思うのです！〝女武者〟とは読んで字の如く、武者のように戦う強き女の人のこと、実際に歌舞伎の舞台でも静御前は薙刀を振り回したりして活躍します！〝白拍子〟というのは踊り子のこと、歌舞伎の演目の中で静御前が舞を披露したり、鼓を演奏するものは沢山ございます。武術・舞楽に秀でた人物であった静御前は、扮装にも特徴があり、普段はお姫様の役でしか着ることのない〝赤姫〟という衣裳を身に纏っております。義経の本当の奥様ではないけど、それなりの品位があって、様々なスキルを身につけている人だからこそのイレギュラーな意匠が凝らされているのではないかと思います。なので！演じる側も様々な工夫ができ、ただの女性の役（〝女方〟）ではない面白さを演じていて強く感じるのです！恋人である義経が非業の死を遂げたのではなく日本を離れモンゴル国の初代皇帝であるチンギスハンになったという話のように！静御前も様々な伝説を持った女性だからこそ、物語になりやすく、魅力的なのだと感じています。今回、改めて振り返ってみると！静御前を初めて演じたのが20歳の時、それ以降たくさんの静御前を演じる機会に恵まれ、今年の2月の公演が終わる頃には約300公演ほどになるぁ～と思いながら、日々、初心を忘れず舞台に向かっております。「吉野山 峰の白雪 ふみわけて 入りにし人の 跡を恋しき」みなさんはこの一首から、どんなイマジネーションをされますか？
そして！この刊の表紙を飾らせていただいております！とても嬉しく！私が1年で1番に力を入れていると言っても過言ではない京都南座の「三月花形歌舞伎」！〝劇場をテーマパークに!!〟をテーマに、解説やグッズなども取り揃え、初めて歌舞伎を見る方や歌舞伎ツーの方も楽しめる様々な趣向を凝らして！劇場でお待ちしております！歌舞伎の〝沼〟にハマりたい方、必見です!!

暉峻創三の特選シネマ

暉峻創三（てるおか そうぞう）／映画評論家。大阪アジアン映画祭プログラミング・ディレクター。

第二十七回「愛の兵士」

来たる3月に開催される大阪アジアン映画祭は、今回で記念すべき第20回を迎える。2005年に「韓国エンタテインメント映画祭」の名で創設され、翌年から現名称に変更。今では、日本全国からはもとより、海外からも観客が訪れる大阪各地の国際的イベントになった。
第20回のスペシャル・オープニング作品に選ばれたのは、カザフスタン映画「愛の兵士」だ。昨年、一昨年と、映画祭一番の晴れの場とも言えるこの枠には、人気スター主演の派手めな香港映画が選ばれてきた。映画祭の開幕作品に対する一般的イメージにも、それは収まりが良かったかも。しかし節目の開催回となる今年は、既に人気を確立した作品を招くより、むしろ多くの人が知らずにいた新しい世界を人々に提示し、人生の関心領域が広がるような作品を招きたいと考えていた。
結果、迷うことなく決まったのが「愛の兵士」だ。そもそもカザフスタン映画が日本に紹介されることは、きわめて少ない。過去に上映された数少ない作品から、アート系映画や重厚なドラマのイメージを持っている人も多いかもしれない。けれどこの度上映される「愛の兵士」は、カザフスタン映画のイメージそのものを突き崩す画期的な一作だ。
ジャンルは、現代的でポップなミュージカル。第一子を授かったばかりのある若夫婦が主人公なのだが、夫はミュージシャンとして売れっ子になっていく。そして、出会った女性ダンサーと魅かれ合う仲に。それは当然のように、若夫婦の関係に波紋を投じていく。
シンプルな三角関係のドラマが、オシャレで、リズミカルで、時にダイナミックなソング&ダンスと共に語られていく至福の映画体験。そう、これはアート映画というより、エンタテインメント・スペクタクルとして作られたものなのだ。
全編に流れるのは、カザフスタンの国民的人気グループ、A'Studioのヒットナンバーの数々。それをけっしてMV風になることなく映画的表現の連続に落とし込んだ監督ファルハット・シャリポフの腕前も、あっけにとられるほどに素晴らしい。

「愛の兵士」
3月14日(金)～23日(日)に開催の第20回大阪アジアン映画祭にて上映。

美術速報 COLUMN
ARTな散歩道

小吹隆文（美術ライター）
関西を中心に活躍中。直接足を運んで作品世界に触れることをモットーとしている。

Vol.27　大阪市立美術館が待望のリニューアルオープン！

大阪・天王寺公園の一角にある大阪市立美術館が、約2年半にわたる改修工事を終え、3月1日にリニューアルオープンする。では、美術館のどこが新しくなったのか、そして展覧会はどんなものかを説明しよう。
まず、美術館について。同館は昭和11年（1936）に開館した日本で三番目に古い公立美術館だ。建物が国の登録有形文化財に指定されているため、今回のリニューアルでは外観を大きく変更するのではなく、可能な限り開館当初の姿を留めるよう配慮されている。
具体的には、公園のグラウンドレベルに新エントランスを設けてエスカレーターで中央ホールに上がれるようになった、展示室以外はほぼ無料ゾーンになった、近代日本庭園の名園・慶沢園を臨むカフェやテラスがオープンする、新エントランスにミュージアムショップを設ける、1階にバブリックスペース「じゃりおうむ」を開設するなど、誰もが気軽に出かけられる「ひらかれたミュージアム」に生まれ変わる。
また、エレベーターの増設、トイレ等のアメニティや、展示ケース、照明、空調設備の一新、耐震補強、収蔵庫の拡充など、機能面も大幅に向上しており、国内外に誇れる美術館にグレードアップしたと言えるだろう。
そんな大阪市立美術館が、活動再開第1弾として開催する展覧会が、リニューアルオープン記念特別展「What's New! 大阪市立美術館 名品珍品大公開!!」である。日本・東洋美術を中心とする同館の館蔵品約8700件にのぼるが、本展ではそれらの中から、絵画、書蹟、彫刻、漆工、金工、陶磁など約250件を展示する。選りすぐりの名品はもちろん、あまり紹介されたことのない珍品も展示されるので、美術館の実力を知る絶好の機会となるだろう。
また、作品のキャプション（作品名などを記したプレート）に注目すると、同館の性格が垣間見える。彫刻では、船場生まれの財界人・山口謙四郎氏（1886～1957）が蒐集した「山口コレクション」、絵画では、昭和18年（1943）に住友家の支援を受けて開催された「関西邦画展覧会」の出品作からなる「住友コレクション」、漆工では、スイス人実業家U.A.カザール氏（1888～1964）による「カザールコレクション」など、コレクション形成に市民の寄贈が大きな役割を果たしてきたことが分かるのだ。
市民に愛され、市民が育んできた大阪市立美術館。その新たな歴史が始まろうとしている。第一歩となる展覧会を見逃すなかれ。


（石造菩薩立像頭部）
［中国河南省・龍門石窟賓陽中洞将来］
中国・南北朝時代（北魏）
大阪市立美術館蔵（江口治郎氏寄贈）


（青銅鏡金鍍 羽人）
中国・後漢時代・1～2世紀
大阪市立美術館蔵（山口コレクション）

◎3月1日（土）～30日（日）※会期中に展示替えあり
リニューアルオープン記念特別展
「What's New!
大阪市立美術館 名品珍品大公開!!」
■会場／大阪市立美術館（天王寺公園内）
■時間／9:20～17:00（初日は10:00～）※入館は16:30まで　月曜休
■料金（税込）／一般¥1,800　大高生¥1,200
※中学生以下、障がい者手帳等をお持ちの方（介護者1名を含む）は無料（要証明）
■お問合せ／大阪市総合コールセンター TEL.06-4301-7285
https://www.osakakanmuseum.jp/



MEG WEST VOL.27
2025.February
TAKE FREE
Mixture Entertainment Guide

Producer／石原 卓（questroom）
Publisher／福村 明弘（MOBYDICK PROMOTION）
Designer／赤坂 由有（goldfish projection）
Chief Editor／杉岡 ちず子（questroom）
Editor／紅粉 チコ
Brain／磯島 浩彰
Cover Photographer／中野 建太
Interview／岩本 和子　仲谷 暢之　吉本 秀純　北島 あや
Special Thanks／永井 敬子（questroom）
Printing／株式会社 朝日プリンテック
Distribution／株式会社 朝日コネクト大阪

［掲載内容に関するお問合せ］MEG関西版編集室 TEL.06-6484-9711（クエストルーム株式会社）〒530-0047 大阪市北区西天満2-8-1 大江ビルヂング507 http://www.meg-net.com

2025年3月～6月 京都南座 公演のご案内

3月 2日(日)～23日(日)

午前の部11:00／午後の部:15:30
【休演】6(木)・13(木)

大好評発売中!



松竹創業百三十周年

三月花形歌舞伎

March Blossoming Kabuki


市川青虎


中村寿治郎


市川猿弥

恋に狂い、恋に戸惑い、
恋に踊る。

3月	午前の部	午後の部
2(日)	松	桜
3(月)	松	桜
4(火)	松	桜
5(水)	松	桜
6(木)	休	演
7(金)	松	桜
8(土)	松	桜
9(日)	松	桜
10(月)	松	桜
11(火)	松	桜
12(水)	松	桜
13(木)	休	演
14(金)	桜	松
15(土)	桜	松
16(日)	桜	松
17(月)	桜	松
18(火)	桜	松
19(水)	桜	松
20(木祝)	桜	松
21(金)	桜	松
22(土)	桜	松
23(日)	桜	松

ご観劇料(税込)

特別席	一等席	二等席	三等席
13,000円	12,000円	7,000円	4,000円

◆松プログラム

一、妹背山婦女庭訓 三笠山御殿
(いもせやまおんなていきん みかさやまごてん)
　豆腐買おむら　壱太郎
　漁師鱶七実は金輪五郎今国　福之助

二、於染久松色読販 お染の五役
(おそめひさまつうきなのよみうり)
　油屋娘お染／丁稚久松／久作娘お光／鬼門の喜兵衛／土手のお六　壱太郎

◇桜プログラム

一、伊勢音頭恋寝刃
(いせおんどこいのねたば)
片岡仁左衛門 監修
　油屋店奥庭先　猿弥
　同油屋　虎之介

二、於染久松色読販 お染の五役
(おそめひさまつうきなのよみうり)
　油屋娘お染／丁稚久松／久作娘お光／鬼門の喜兵衛／土手のお六　壱太郎

◇桜プログラム

『伊勢音頭恋寝刃』
　福岡貢　虎之介
　油屋お紺　米吉
　料理人喜助 中村福之助
　今田万次郎　吉太朗
　油屋お岸　千太郎
　藍玉屋北六実は徳島岩次　青虎
　油屋娘お染／丁稚久松／久作娘お光　寿治郎
　仲居万野　壱太郎
　油屋お鹿　猿弥
　猿廻しお龍　虎之介
　船頭白蔵 中村福之助

◆松プログラム

『三笠山御殿』
　杉酒屋娘お三輪／烏帽子折求女実は藤原淡海　米吉
　蘇我入鹿／入鹿妹橘姫　虎之介
　宮越玄蕃　猿弥
　豆腐買おむら　吉太朗
　漁師鱶七実は金輪五郎今国　青虎
　三笠山御殿 中村福之助

『お染の五役』
　油屋娘お染／丁稚久松／久作娘お光／鬼門の喜兵衛／土手のお六　壱太郎
　猿廻しお龍　虎之介
　猿廻し白蔵 中村福之助

4月 25日(金)～29日(火祝)

午前の部11:30
午後の部15:00

3月9日(日) 午前10時 電話 Web 受付開始

【窓口販売・お引取りは3月11日(火)午前10時より】
窓口販売用別枠でのお取置きはございません。



ご観劇料(税込)
一等席(1・2階) 8,500円
二等席(3階) 5,500円

5月 15日(木)～24日(土)

開演時間11:00／14:00
(17(土)18(日)24(土)のみ13:00／17:00)
【休演】19(月)

只今団体問合せ受付中!

松竹創業百三十周年

南座 歌舞伎鑑賞教室

令和7年5月 開催決定!

分かりやすい解説と魅力溢れる演目でお届けする、
南座恒例の歌舞伎鑑賞教室。
歌舞伎の奥深さを存分にご堪能ください。



演目鋭意選定中!

製作 松竹

Kabuki Performance for Beginners 2025
Minamiza Theatre in Kyoto
English Audio Guide Available

May 15th(Thu.) - 24th(Sat.)

May	15 thu.	16 fri.	17 sat.	18 sun.	19 mon.	20 tue.	21 wed.	22 thu.	23 fri.	24 sat.
11:00	○	○			／	○	○	○	貸切	
13:00			○	○	／					○
14:00	○	貸切			／	○	○	○	貸切	
17:00			○	○	／					○

Tickets
(Tax included)
4,000JPY
*All Seats Reserved

6月

只今団体問合せ受付中!

製作 松竹

松竹創業百三十周年
令和7年6月

坂東玉三郎特別公演

豪華演目選定中!


坂東玉三郎

京都四條 南座
〒605-0075 京都市東山区四条大橋東詰 電話 075-561-1155
松竹ホームページ https://www.shochiku.co.jp
歌舞伎美人(かぶきびと) https://www.kabuki-bito.jp

チケットホン松竹 (10:00～17:00)
0570-000-489 または **06-6530-0333**

チケットWeb松竹 (24時間受付・受付初日は10:00より)
チケット Web 松竹
チケットWeb松竹のお問い合わせは ☎03-3545-2200 (10:00～17:00)

チケットぴあ	ローソンチケット	イープラス
ぴあ 南座	ローチケ 南座	e+ 南座
Pコード 「三月花形歌舞伎」530-653 「レビュー in Kyoto」532-308	Lコード 「三月花形歌舞伎」53573 「レビュー in Kyoto」55294	取り扱い公演はHPをご確認ください。
w.pia.jp/t/minamiza/	l-tike.com/minamiza/	eplus.jp/minamiza/

団体のお申し込みお問い合わせは
075-561-1155 (販売営業)まで
前売券取扱所:南座・大阪松竹座・歌舞伎座・新橋演舞場